

# 江戸川区内中小企業の景況について

2020年4月～6月期



江戸川区生活振興部産業振興課計画係

調査実施機関 一般社団法人東京都信用金庫協会

分析・作成 株式会社サーベイリサーチセンター



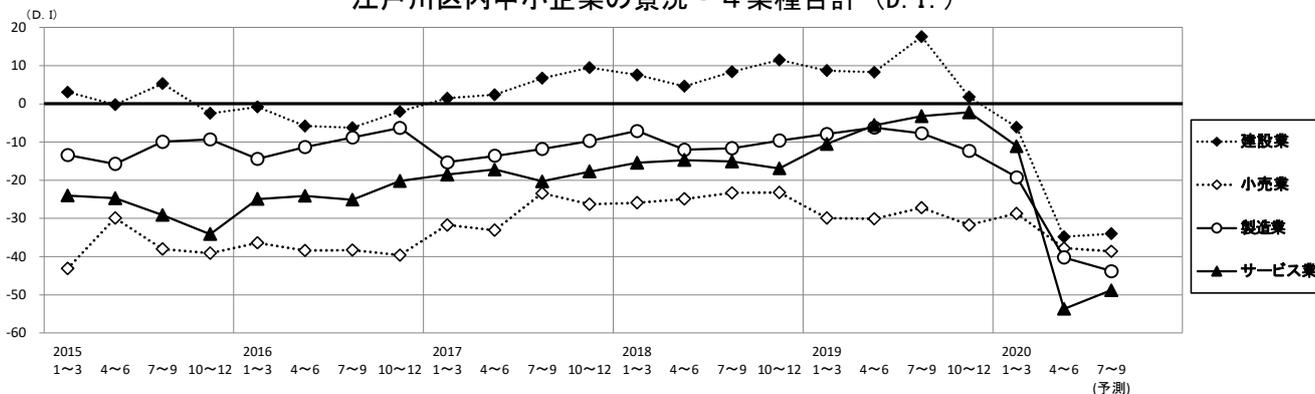
# 江戸川区内の中小企業の景況（2020年4月～6月期）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

**業況判断DIは前期（-17.9）から23.2ポイント悪化し-41.1に。**

～新型コロナウイルスの影響で小売業は悪化幅がかなり拡大し、製造業、サービス業、建設業は極端に落ち込む～

江戸川区内中小企業の景況・4業種合計（D.I.）



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-41.1（前期は-17.9）と前期に比べ23.2ポイント悪化した。業種別に見ると、新型コロナウイルスの影響で、小売業は悪化幅がかなり拡大し、製造業、サービス業、建設業は極端に落ち込んだ。中でもサービス業への影響が最も大きくなっている。来期は、サービス業は水面下ながら多少改善するが、小売業と建設業は今期並の悪化幅が続き、製造業は更に厳しさを増すと予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-19.2	-40.2	-21.0	-43.8	-3.6
小売業	-28.7	-37.8	-9.1	-38.6	-0.8
サービス業	-11.1	-53.7	-42.6	-48.8	4.9
建設業	-6.1	-34.8	-28.7	-34.0	0.8
総合	-17.9	-41.1	-23.2	-42.0	-0.9

※前期（2020年1～3月） 来期（2020年7～9月）  
※「総合」は上記の4業種でのD.I値

## <製造業>

業況は悪化傾向が極端に強まった。売上額、受注残、収益も減少・減益幅が非常に大きく拡大した。価格面では、販売価格は上昇から下降に大きく転じ、原材料価格は上昇が大幅に弱まった。原材料在庫数量は引続き適正範囲に保たれている。

業種別に見ると、「プラスチック製品」はプラスからマイナスに大きく落ち込んだのはじめ、「一般、金型、電気、輸送、精密機械器具」と「木材・木製品、家具・装備品」は悪化傾向を極端に強め、「食料品」、「金属製品、建設用金属製品」、「繊維工業、衣服・その他の繊維製品」、「パルプ・紙、印刷、製本業」も悪化幅が大きく拡大した。

来期の業況は悪化幅がさらに拡大すると見込んでいるが、売上額、受注残、収益はともに減少・減益幅が多少改善すると予想している。

## <小売業>

業況は悪化傾向が大きく強まった。売上額は極端に低迷し、収益も減益幅が大きく拡大した。価格面では、販売価格は減少幅が大きく拡大した。仕入価格は上昇から下降に転じたため良好感が出てきた。

業種別に見ると、「家具・じゅう器、家電・家庭用機械」は悪化幅が極端に縮小したが、「衣服、呉服、身の回り品」と「食料品」はともに悪化傾向が大幅に強まった。

来期の業況は今期同様の悪化傾向が続くが、売上額と収益は水面下ながらかなり持ち直すと予想している。

## <サービス業>

業況は悪化傾向が極端に強まった。売上額と収益も非常に大きく低迷した。価格面では、料金価格は上昇から下降に極端に転じ、材料価格は上昇がなくなり逆に良好感が出てきた。

来期の業況は多少改善するものの、売上額と収益は今期同様の減少・減益幅が続くと予想している。

## <建設業>

業況は悪化傾向が極端に強まった。売上額は増加から水面下に非常に大きく落ち込み、受注残と施工高は減少を非常に強めた。収益も減益幅が極端に拡大した。価格面では、請負価格は上昇から下降に大幅に転じ、材料価格は上昇傾向が大きく弱まった。

来期の業況は今期同様の悪化幅で推移すると見込まれている。売上額、受注残、施工高は幾分改善し、収益はかなり持ち直すと予想している。

# 製 造 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## （１）業況、売上額、受注残、収益

業況（△12.3→△19.2→△40.2）は悪化傾向が極端に強まった。

売上額（△5.2→△17.6→△42.0）、受注残（△8.6→△16.4→△42.1）、収益（△10.3→△17.9→△41.0）も減少・減益幅が非常に大きく拡大した。

来期の見通しについて、業況（△43.8予想）は悪化幅がさらに拡大すると見込んでいるが、売上額（△39.1予想）、受注残（△36.5予想）、収益（△38.7予想）はともに減少・減益幅が多少改善すると予想している。

## （２）販売価格、原材料価格、原材料在庫数量

販売価格（2.3→0.5→△11.3）は上昇から下降に大きく転じ、原材料価格（16.8→17.5→2.1）は上昇が大幅に弱まった。原材料在庫数量（1.1→△0.4→△1.8）は引続き適正範囲に保たれている。

来期の見通しについて、販売価格（△14.3 予想）は下降幅がわずかに拡大し、原材料価格（0.9 予想）は今期並の水準で推移すると見込んでいる。原材料在庫数量（△4.7 予想）は不足感が現れると予想している。

## （３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（△7.9→△8.2→△31.1）は極端に厳しさが増し、借入難易度（0.0→△3.1→△3.5）は前期並の窮屈感が続いた。

設備投資を「実施した」企業（18.5%→16.8%→9.4%）は前期から7.4ポイント減少した。

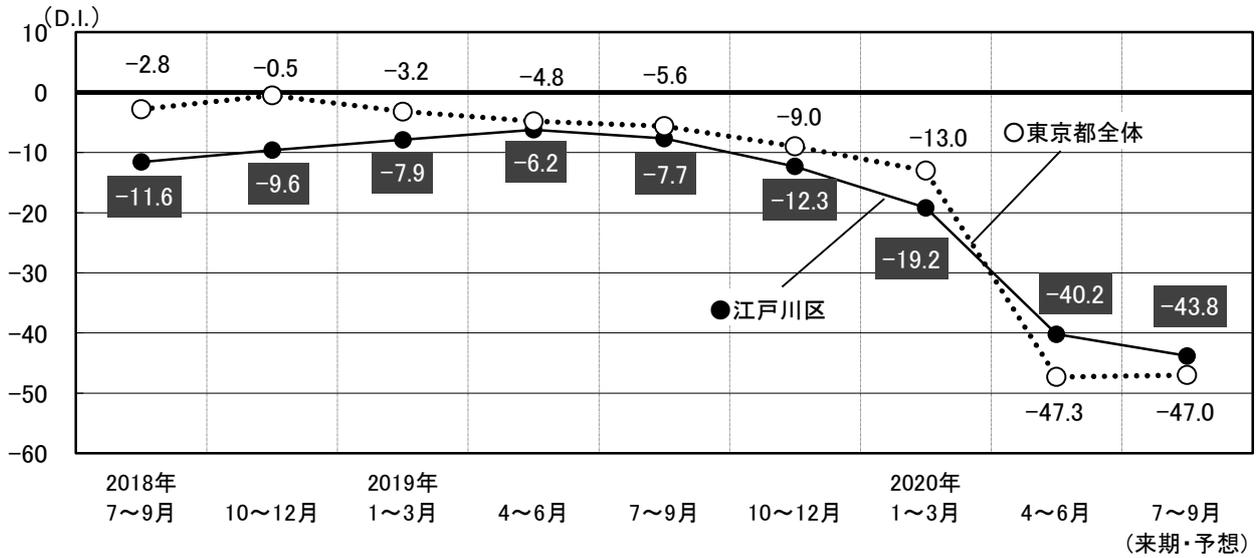
来期の見通しについて、資金繰り（△31.4 予想）は今期並の厳しさが続く予想している。

## （４）経営上の問題点、重点経営施策

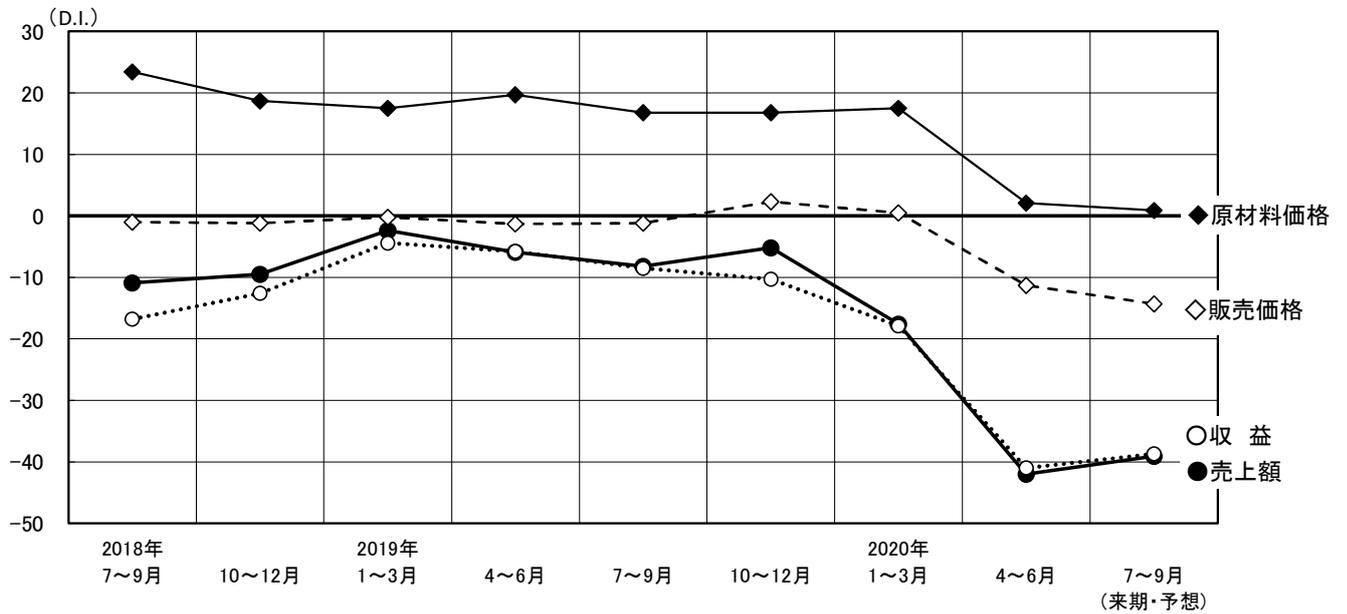
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（49.4%）が今期も最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（17.1%）、「利幅の縮小」（13.4%）、「原材料高」（11.6%）、「人手不足」「大手企業との競争の激化」「工場・機械の狭小・老朽化」「販売納入先からの値下げ要請」（各8.5%）の順であった。

重点経営施策では、「販路を広げる」（53.0%）が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」（39.6%）、「情報力を強化する」（12.2%）、「新製品・技術を開発する」（9.1%）「人材を確保する」（8.5%）の順であった。

【製造業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

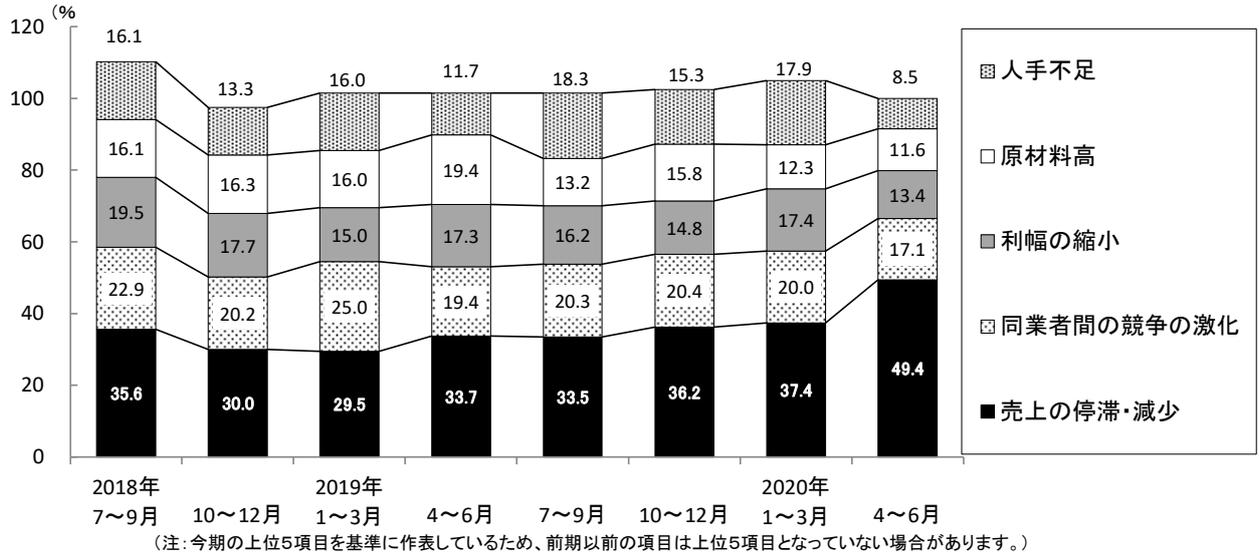


【製造業】 売上額・収益・販売価格・原材料価格の推移



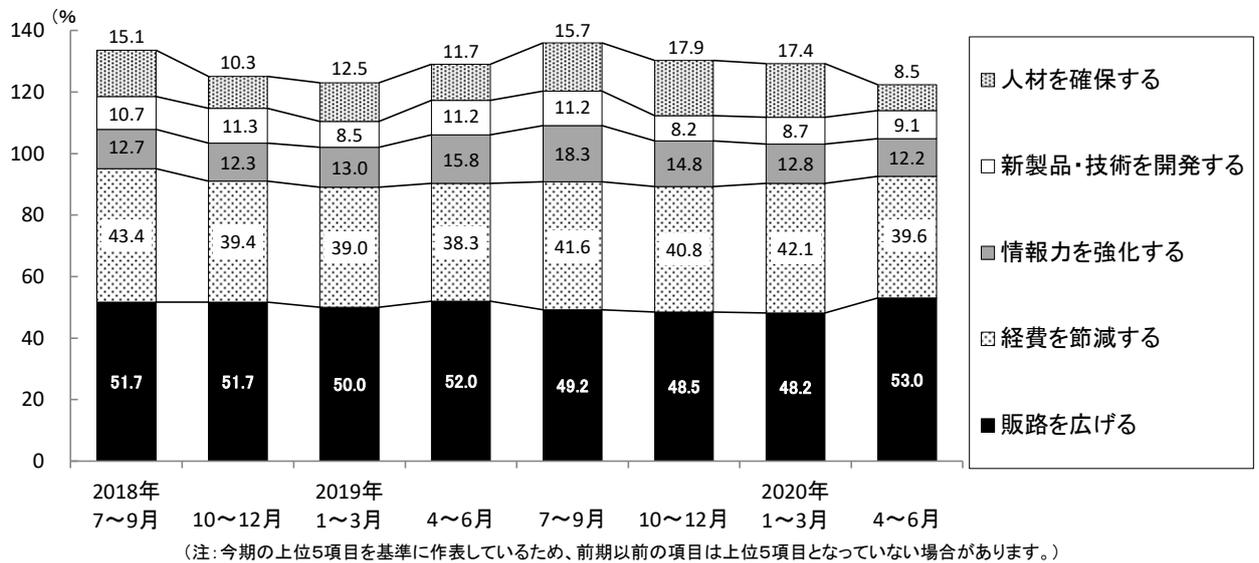
**【製造業】 経営上の問題点** (複数回答)

2019年7～9月期		2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期	
売上の停滞・減少	33.5%	売上の停滞・減少	36.2%	売上の停滞・減少	37.4%	売上の停滞・減少	49.4%
同業者間の競争の激化	20.3%	同業者間の競争の激化	20.4%	同業者間の競争の激化	20.0%	同業者間の競争の激化	17.1%
人手不足	18.3%	原材料高	15.8%	人手不足	17.9%	利幅の縮小	13.4%
利幅の縮小	16.2%	人手不足	15.3%	利幅の縮小	17.4%	原材料高	11.6%
原材料高	13.2%	利幅の縮小	14.8%	原材料高	12.3%	人手不足 大手企業との競争の激化 工場・機械の狭小・老朽化 販売納入先からの値下げ要請	8.5%



**【製造業】 重点経営施策** (複数回答)

2019年7～9月期		2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期	
販路を広げる	49.2%	販路を広げる	48.5%	販路を広げる	48.2%	販路を広げる	53.0%
経費を節減する	41.6%	経費を節減する	40.8%	経費を節減する	42.1%	経費を節減する	39.6%
情報力を強化する	18.3%	人材を確保する	17.9%	人材を確保する	17.4%	情報力を強化する	12.2%
人材を確保する	15.7%	情報力を強化する	14.8%	情報力を強化する	12.8%	新製品・技術を開発する	9.1%
新製品・技術を開発する	11.2%	新製品・技術を開発する	8.2%	新製品・技術を開発する	8.7%	人材を確保する	8.5%



## 製造業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ① 食料品

業況（△16.1→△15.7→△33.3）は悪化幅が大幅に拡大した。売上額（△5.3→△22.2→△36.3）と受注残（△3.7→△22.1→△36.1）は減少を大きく強め、収益（△9.5→△11.0→△35.5）は減益幅が非常に大きく拡大した。

販売価格（8.4→△7.0→1.1）は下降からわずかに上昇に転じた。原材料価格（25.4→18.4→19.4）は前期並の上昇幅で推移した。

資金繰り（△6.1→△12.4→△17.5）は厳しさが増したが、借入難易度（△9.1→△12.5→0.0）は窮屈感がなくなった。

来期の見通しは、業況（△27.5 予想）は水面下ながらかなり持ち直すと見ている。売上額（△27.5 予想）、受注残（△26.6 予想）、収益（△25.1 予想）も大幅に改善すると見込まれている。販売価格（△7.0 予想）は上昇から大きく下降に転じ、原材料価格（2.1 予想）は上昇が大幅に弱まり落ち着きを見せると予想している。

### ② 繊維工業、衣服・その他の繊維製品

業況（△25.3→△41.8→△63.8）は悪化傾向が更に大きく強まった。売上額（△27.0→△44.8→△61.5）と受注残（△31.4→△33.4→△60.7）は極端に減少を強めたが、収益（△28.7→△42.8→△39.9）は減益幅がわずかに縮小した。

販売価格（△9.1→△17.0→△26.7）は下降傾向が大幅に強まり、原材料価格（0.0→△5.3→0.1）は好感がなくなった。

資金繰り（△22.0→△16.4→△55.6）は苦しさが非常に大きく増し、借入難易度（△16.7→△20.0→△22.2）も厳しさが多少強まった。

来期の見通しは、業況（△49.5 予想）は水面下ながら大幅に改善すると見ている。売上額（△53.3 予想）と受注残（△53.0 予想）はかなり持ち直すが、収益（△41.8 予想）は今期並の減益幅が続くと見込まれている。販売価格（△16.6 予想）は下降傾向が大きく改善するが、原材料価格（9.2 予想）は上昇がかなり強まると予想している。

### ③ 木材・木製品、家具・装備品

業況（△19.1→△29.9→△57.1）は悪化幅が非常に大きく拡大した。売上額（△4.1→△14.8→△55.6）、受注残（△5.2→△10.3→△45.5）、収益（△8.7→△22.4→△57.3）も減少・減益幅が極端に拡大した。

販売価格（△1.5→△5.5→△11.2）は更に下降が強まったが、原材料価格（13.8→25.3→△3.7）は上昇から下降に極端に転じて好感が出てきた。

資金繰り（△17.7→△16.5→△51.0）は苦しさが極端に増したが、借入難易度（△20.0→△18.2→0.0）は厳しさがなくなった。

来期の見通しは、業況（△37.7 予想）は悪化幅が非常に大きく縮小すると見ている。売上額（△32.6 予想）、受注残（△23.7 予想）、収益（△34.2 予想）も極端に改善されると予想されている。販売価格（△9.9 予想）は今期並の下降幅が続き、原材料価格（△1.6 予想）は下降が弱まると予想している。

### ④ パルプ・紙、印刷、製本業

業況（△32.3→△27.8→△44.2）は悪化幅が大きく拡大した。売上額（△17.8→△19.2→△48.0）と受注残（△15.9→△11.3→△40.8）は減少を非常に強め、収益（△22.0→△22.9→△51.5）も減益幅が極端に拡大した。

販売価格（2.8→1.8→△11.1）は上昇から下降に大きく転じ、原材料価格（22.2→15.8→4.4）は上昇がかなり弱まった。

資金繰り（△8.7→△11.0→△30.3）は苦しさが大幅に増したが、借入難易度（0.0→△27.8→0.0）は厳しさがなくなった。

来期の見通しは、業況（△51.4 予想）は悪化傾向がさらに大きく強まると見ている。売上額（△50.0 予想）と収益（△56.0 予想）はわずかに減少・減益幅が拡大し、受注残（△48.6 予想）は減少を大幅に強めると見込まれている。販売価格（△14.7 予想）は下降幅が多少拡大し、原材料価格（4.8 予想）は今期同様の上昇幅で推移すると予想している。

## ⑤ 金属製品、建設用金属製品

業況（△20.6→△22.5→△29.8）は悪化幅がかなり拡大し、売上額（△6.6→△23.6→△33.5）と受注残（△3.8→△28.2→△42.1）も非常に低迷し、収益（△17.2→△29.9→△34.2）もわずかに減益幅が拡大した。

販売価格（△4.7→△1.6→△10.1）は下降幅が大きく拡大し、原材料価格（32.1→12.9→19.3）はかなり上昇が強まった。

資金繰り（△22.5→△22.7→△13.5）は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度（0.0→△4.2→4.2）は容易な状況になった。

来期の見通しは、業況（△41.3 予想）は悪化幅がさらに大きく拡大すると見ている。売上額（△47.5 予想）と収益（△40.4 予想）は減少がかなり強まるが、受注残（△40.6 予想）はほぼ今期並の悪化幅で推移すると見込まれている。販売価格（△12.6 予想）は下降幅が多少拡大するが、原材料価格（18.1 予想）は今期並の上昇幅が続くと予想している。

## ⑥ 一般、金型、電気、輸送、精密機械器具

業況（△6.4→△10.4→△45.0）は悪化幅が極端に拡大した。売上額（2.0→△4.1→△41.2）と収益（△4.4→△2.8→△41.0）も非常に低迷し、受注残（△4.7→0.4→△41.5）はプラスからマイナスに極端に落込んだ。

販売価格（4.9→6.4→△12.7）は上昇から下降に大幅に転じて厳しい状況となったが、原材料価格（18.6→21.1→△7.6）は上昇から下降に極端に転じて良好感が出てきた。

資金繰り（△3.1→9.0→△37.6）は楽な状況から極端に苦しい状況になり、借入難易度（2.6→7.9→△7.4）も容易な状況から厳しい状況に大きく転じた。

来期の見通しは、業況（△56.4 予想）は悪化傾向が更に強まると見ている。売上額（△34.0 予想）と受注残（△28.7 予想）は減少幅がかなり縮小し、収益（△29.7 予想）も水面下ながら大幅に改善されると見込まれている。販売価格（△6.5 予想）は下降傾向がかなり改善され、原材料価格（△6.3 予想）も今期並の良好感が続くと予想している。

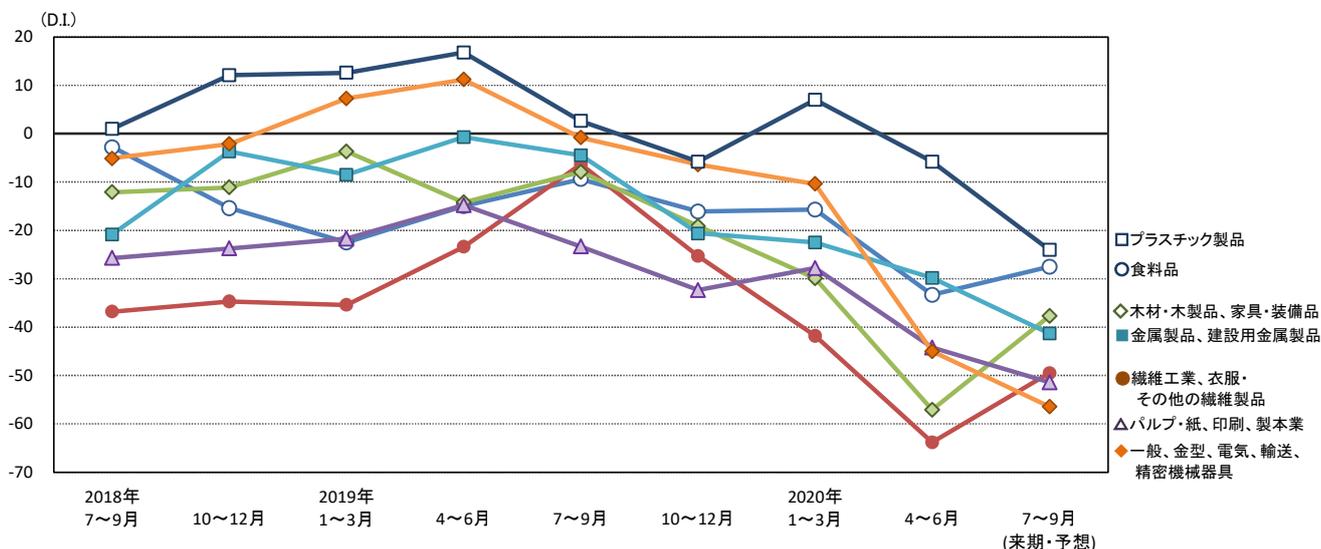
## ⑦ プラスチック製品

業況（△5.8→7.0→△5.8）はプラスからマイナスに大きく落込んだ。売上額（6.5→13.9→△14.0）、受注残（0.6→8.7→△17.9）、収益（7.5→13.9→△12.8）も増加から減少に大きく転じた。

販売価格（1.1→15.7→7.5）と原材料価格（13.4→21.2→3.9）はともに上昇傾向が大幅に後退した。

資金繰り（7.3→6.4→△19.3）は楽な状況から極端に苦しい状況になり、借入難易度（26.7→26.7→0.0）も容易さがなくなった。

来期の見通しは、業況（△24.0 予想）はさらに大きく落ち込むと見ている。受注残（△14.0 予想）は多少持ち直すが、売上額（△13.2 予想）は今期並の減少幅で推移し、収益（△18.6 予想）は減益幅がかなり拡大すると予想している。販売価格（0.4 予想）は上昇が大きく弱まり、原材料価格（△0.7 予想）は下降に転じわずかに良好感が出てくると予想している。



# 小 売 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## （１）業況、売上額、収益

業況（ $\Delta 31.7 \rightarrow \Delta 28.7 \rightarrow \Delta 37.8$ ）は悪化傾向が大きく強まった。

売上額（ $\Delta 22.4 \rightarrow \Delta 15.9 \rightarrow \Delta 43.6$ ）は極端に低迷し、収益（ $\Delta 18.5 \rightarrow \Delta 19.4 \rightarrow \Delta 36.4$ ）も減益幅が大きく拡大した。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 38.6$ 予想）は今期同様の悪化傾向が続くが、売上額（ $\Delta 33.6$ 予想）と収益（ $\Delta 28.9$ 予想）は水面下ながらかなり持ち直すと予想している。

## （２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（ $9.3 \rightarrow \Delta 0.1 \rightarrow \Delta 14.5$ ）は減少幅が大きく拡大した。仕入価格（ $16.1 \rightarrow 10.1 \rightarrow \Delta 10.1$ ）は上昇から下降に転じて良好感が出てきた。

在庫数量（ $2.0 \rightarrow 2.1 \rightarrow \Delta 6.4$ ）は不足感が現れてきた。

来期の見通しについて、販売価格（ $\Delta 15.4$ 予想）は今期同様の低下基調で推移し、仕入価格（ $\Delta 9.6$ 予想）も今期並の良好感が続くと思込んでいる。在庫数量（ $\Delta 7.2$ 予想）は今期同様の不足水準が続くと予想している。

## （３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 14.3 \rightarrow \Delta 12.1 \rightarrow \Delta 28.9$ ）は厳しさを大きく強めたが、借入難易度（ $\Delta 2.9 \rightarrow \Delta 15.6 \rightarrow \Delta 10.9$ ）は窮屈感が多少緩和された。

設備投資を「実施した」企業（ $5.8\% \rightarrow 4.8\% \rightarrow 6.2\%$ ）は前期から1.4%増加した。

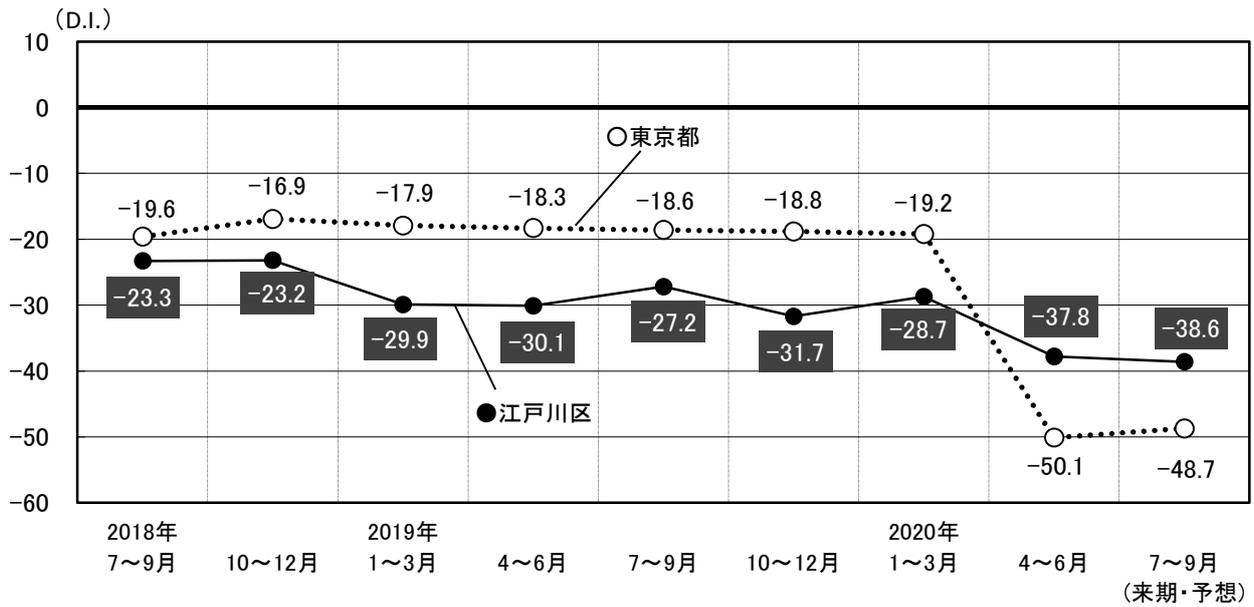
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 24.6$ 予想）は厳しさが幾分和らぐと予想している。

## （４）経営上の問題点、重点経営施策

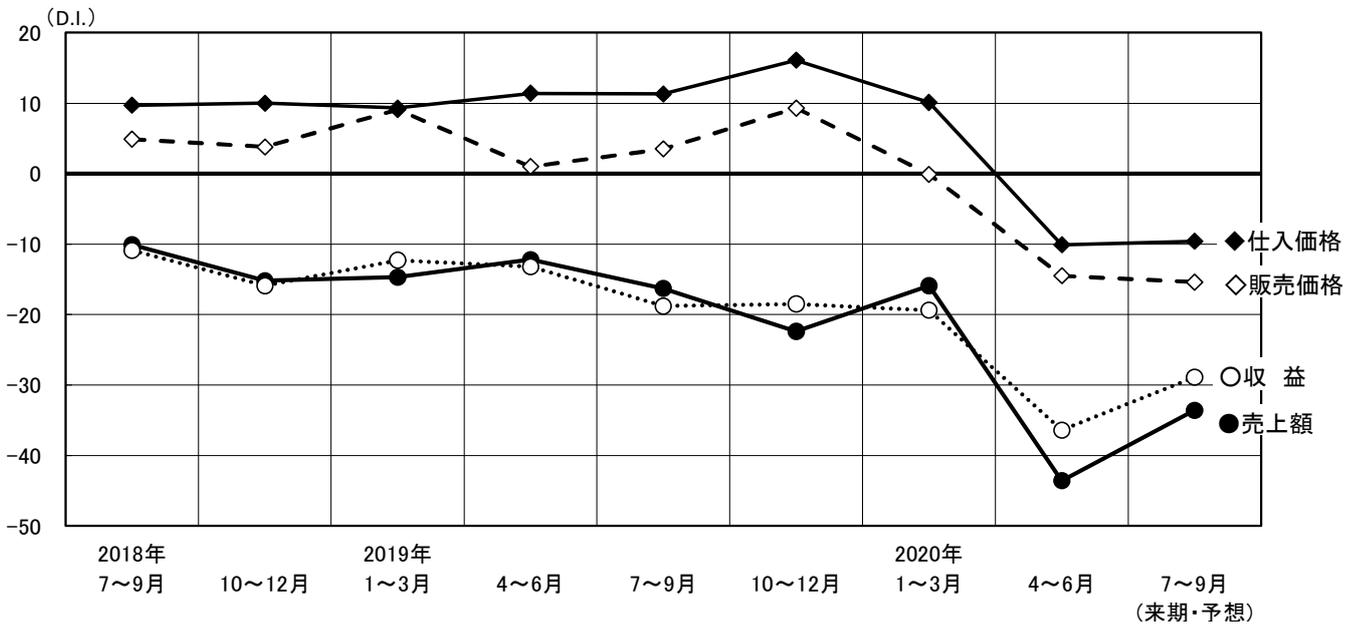
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（45.9%）が今期も最多となった。以下、「大型店との競争の激化」（31.1%）、「同業者間の競争の激化」（17.6%）、「商店街の集客力の低下」（12.2%）、「利幅の縮小」（6.8%）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（32.4%）が今期も最多となった。以下、「宣伝・広報を強化する」（23.0%）、「品揃えを改善する」（21.6%）、「売れ筋商品を取り扱う」（17.6%）、「商店街事業を活性化させる」（13.5%）の順であった。

【小売業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）



【小売業】 売上額・収益・販売価格・仕入価格の推移

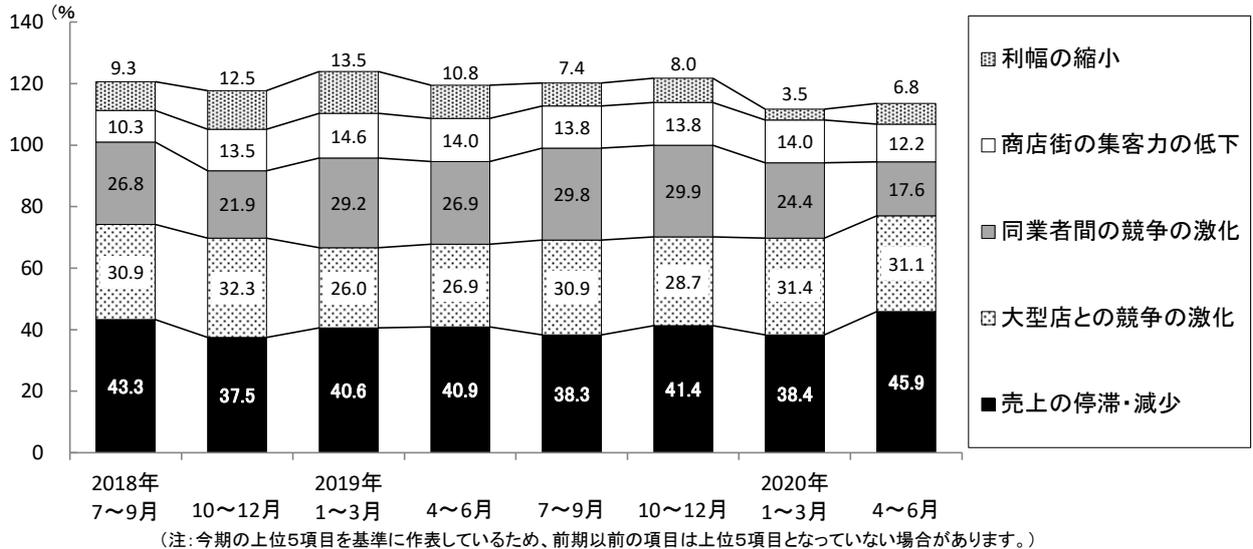


【小売業】

経営上の問題点

(複数回答)

2019年7～9月期		2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期	
売上の停滞・減少	38.3%	売上の停滞・減少	41.4%	売上の停滞・減少	38.4%	売上の停滞・減少	45.9%
大型店との競争の激化	30.9%	同業者間の競争の激化	29.9%	大型店との競争の激化	31.4%	大型店との競争の激化	31.1%
同業者間の競争の激化	29.8%	大型店との競争の激化	28.7%	同業者間の競争の激化	24.4%	同業者間の競争の激化	17.6%
商店街の集客力の低下	13.8%	商店街の集客力の低下	13.8%	商店街の集客力の低下	14.0%	商店街の集客力の低下	12.2%
仕入先からの値上げ要請	11.7%	仕入先からの値上げ要請 人手不足	10.3%	仕入先からの値上げ要請	9.3%	利幅の縮小	6.8%

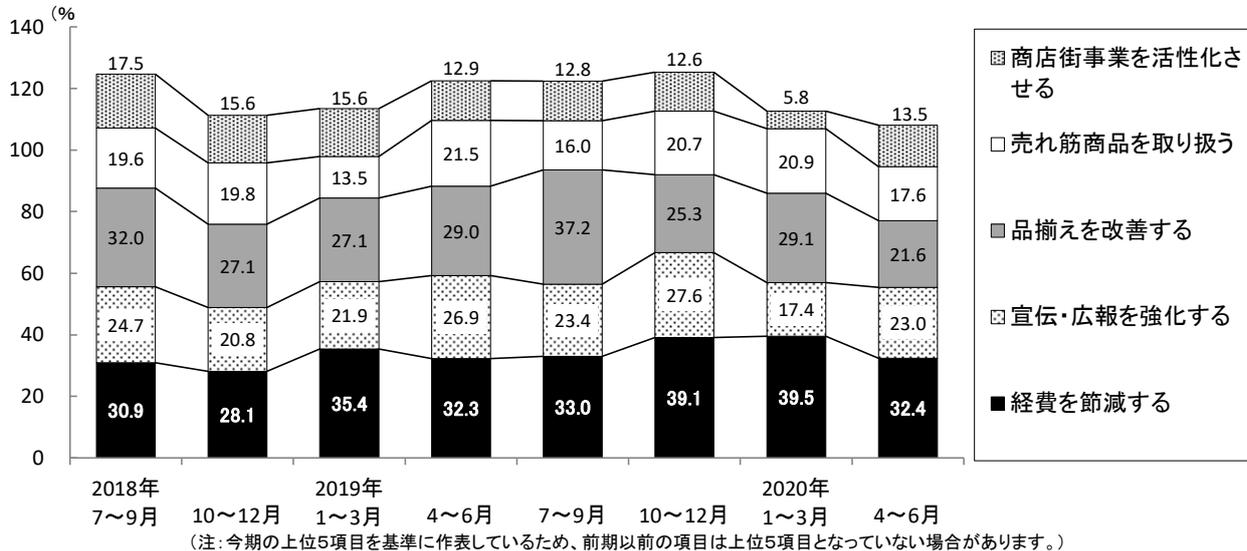


【小売業】

重点経営施策

(複数回答)

2019年7～9月期		2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期	
品揃えを改善する	37.2%	経費を節減する	39.1%	経費を節減する	39.5%	経費を節減する	32.4%
経費を節減する	33.0%	宣伝・広報を強化する	27.6%	品揃えを改善する	29.1%	宣伝・広報を強化する	23.0%
宣伝・広報を強化する	23.4%	品揃えを改善する	25.3%	売れ筋商品を取り扱う	20.9%	品揃えを改善する	21.6%
売れ筋商品を取り扱う	16.0%	売れ筋商品を取り扱う	20.7%	宣伝・広報を強化する	17.4%	売れ筋商品を取り扱う	17.6%
商店街事業を活性化させる	12.8%	商店街事業を活性化させる	12.6%	不動産の有効活用を図る	7.0%	商店街事業を活性化させる	13.5%



## 小売業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

### ① 衣服、呉服、身の回り品

業況（△20.5→△23.8→△37.6）は悪化傾向が大幅に強まり、売上額（△6.2→△6.6→△30.0）と収益（4.8→△5.6→△29.6）は減少・減益幅が極端に拡大した。

販売価格（△3.4→4.6→△9.3）と仕入価格（△3.3→8.5→△7.2）はともに上昇から下降に大きく転じたため、販売価格は厳しい状況になり、仕入価格は良好な状況となった。資金繰り（△4.4→△1.5→△12.0）と借入難易度（0.0→△11.1→△22.2）は苦しい状況が一層強まった。

来期の見通しは、業況（△50.1 予想）は悪化傾向がさらに大きく拡大すると見ているが、売上額（△13.6 予想）と収益（△10.6 予想）は水面下ながら大幅に改善すると見込まれている。販売価格（△8.2 予想）と仕入価格（△6.3 予想）は今期並の下降幅で推移すると予想している。

### ② 飲食料品

業況（△32.1→△21.9→△40.7）は悪化傾向が大幅に強まり、売上額（△13.1→△0.5→△41.4）と収益（△12.3→△0.7→△36.7）も減少・減益幅が極端に拡大した。

販売価格（17.2→7.4→△9.9）と仕入価格（25.5→12.9→△6.8）はともに上昇から下降に大きく転じた。

資金繰り（△17.1→△1.3→△36.6）は厳しさが非常に大きく増したが、借入難易度（△7.4→△19.2→△15.0）は窮屈感が多少緩和された。

来期の見通しは、業況（△42.7 予想）は悪化幅がわずかに拡大するとみている。売上額（△38.9 予想）は幾分改善するが、収益（△35.2 予想）は今期並の減益幅が続くと見込まれている。販売価格（△11.5 予想）は今期同様の下降水準で推移するが、仕入価格（△8.8 予想）はさらに低下して良好感が強まると予想している。

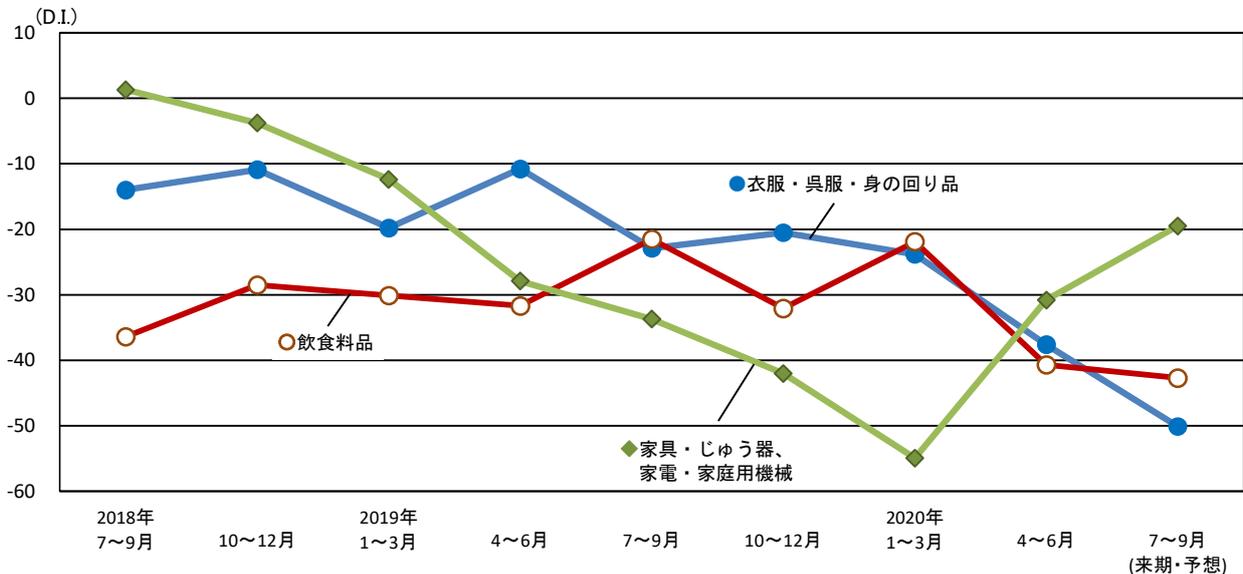
### ③ 家具・じゅう器、家電・家庭用機械

業況（△42.0→△54.9→△30.8）は悪化幅が極端に縮小した。売上額（△44.6→△52.4→△28.9）と収益（△44.7→△52.6→△27.9）も減少・減益幅が非常に大きく改善された。

販売価格（△11.2→△8.6→△14.7）は下降傾向が強まり厳しさを強めたが、仕入価格（△9.3→△9.7→△14.3）はさらに低下したため良好感が強まった。

資金繰り（△4.9→△20.9→△39.7）は苦しさを大きく強めたが、借入難易度（0.0→△12.5→0.0）は大幅に改善して窮屈感がなくなった。

来期の見通しは、業況（△19.5 予想）は水面下ながらかなり持ち直すとみており、売上額（△5.4 予想）と収益（△5.8 予想）も極端に改善すると見込まれている。販売価格（△15.3 予想）と仕入価格（△15.0 予想）はともに今期同様の下降水準で推移すると予想している。



# サービス業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## （１）業況、売上額、収益

業況（ $\Delta 2.2 \rightarrow \Delta 11.1 \rightarrow \Delta 53.7$ ）は悪化傾向が極端に強まった。

売上額（ $\Delta 4.1 \rightarrow \Delta 11.2 \rightarrow \Delta 54.5$ ）と収益（ $\Delta 2.5 \rightarrow \Delta 14.5 \rightarrow \Delta 56.5$ ）も非常に大きく低迷した。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 48.8$ 予想）は多少改善するものの、売上額（ $\Delta 55.2$ 予想）と収益（ $\Delta 56.3$ 予想）は今期同様の減少・減益幅が続くと予想している。

## （２）料金価格、材料価格

料金価格（ $8.1 \rightarrow 3.0 \rightarrow \Delta 19.2$ ）は上昇から下降に極端に転じ、材料価格（ $23.4 \rightarrow 20.2 \rightarrow \Delta 1.6$ ）も上昇がなくなり逆に良好感が出てきた。

来期の見通しについて、料金価格（ $\Delta 18.2$ 予想）は今期並の下降幅で推移するとみており、材料価格（ $1.0$ 予想）は下降からわずかに上昇に転じると予想している。

## （３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（ $\Delta 8.7 \rightarrow \Delta 17.8 \rightarrow \Delta 39.7$ ）は厳しさが非常に大きく増したが、借入難易度（ $\Delta 8.5 \rightarrow \Delta 15.7 \rightarrow \Delta 4.5$ ）は窮屈感が大幅に緩和された。

設備投資を「実施した」企業（ $19.1\% \rightarrow 15.9\% \rightarrow 8.9\%$ ）は、前期から7.0ポイント減少した。

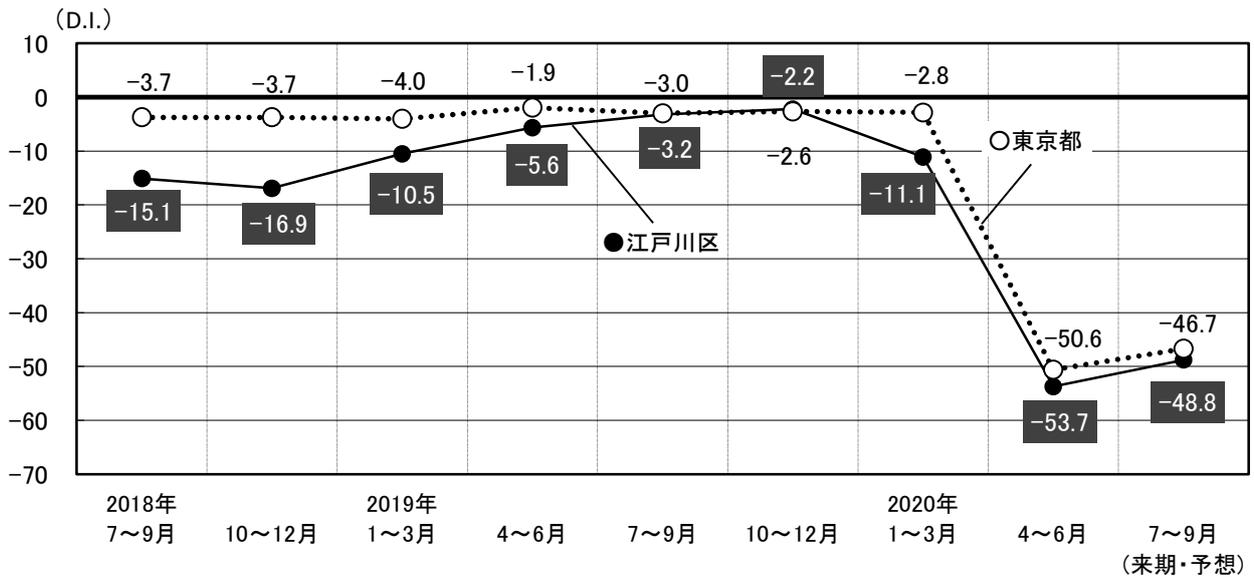
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 40.8$ 予想）は今期同様の厳しさが続くと予想している。

## （４）経営上の問題点、重点経営施策

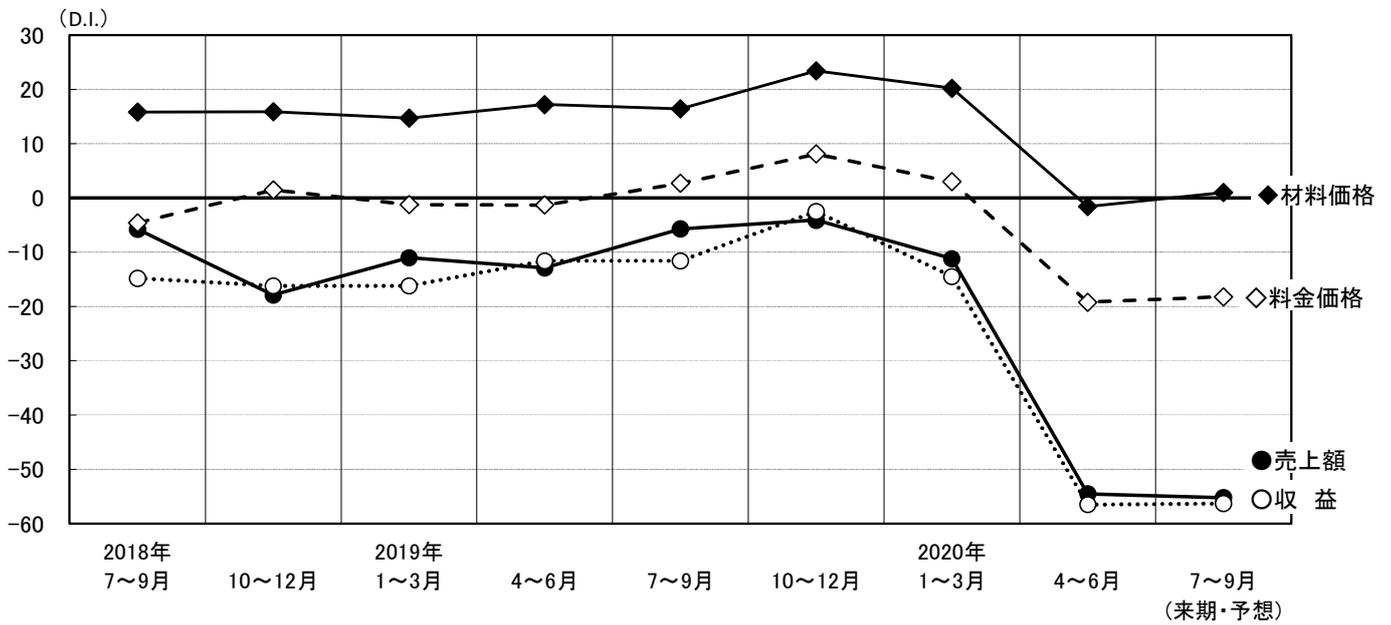
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（62.1%）が今期は最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（32.8%）、「人手不足」、「利幅の縮小」、「取引先の減少」（各12.1%）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（43.1%）が今期は最多となった。以下、「販路を広げる」（37.9%）、「宣伝・広告を強化する」（31.0%）、「人材を確保する」（10.3%）、「提携先を見つける」（6.9%）の順であった。

【サービス業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

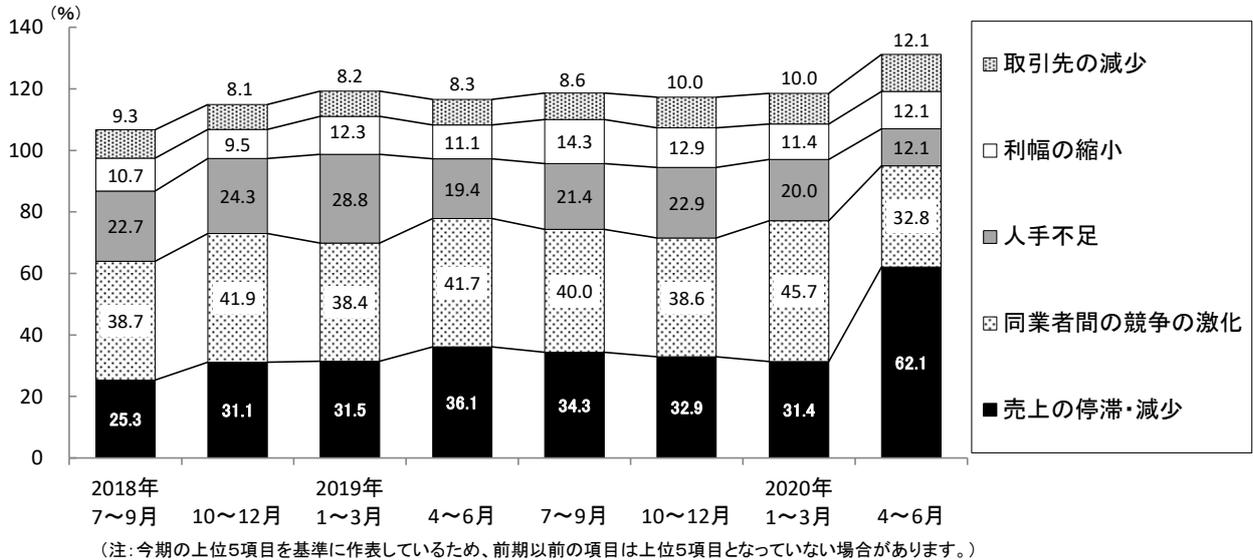


【サービス業】 売上額・収益・料金価格・材料価格の推移



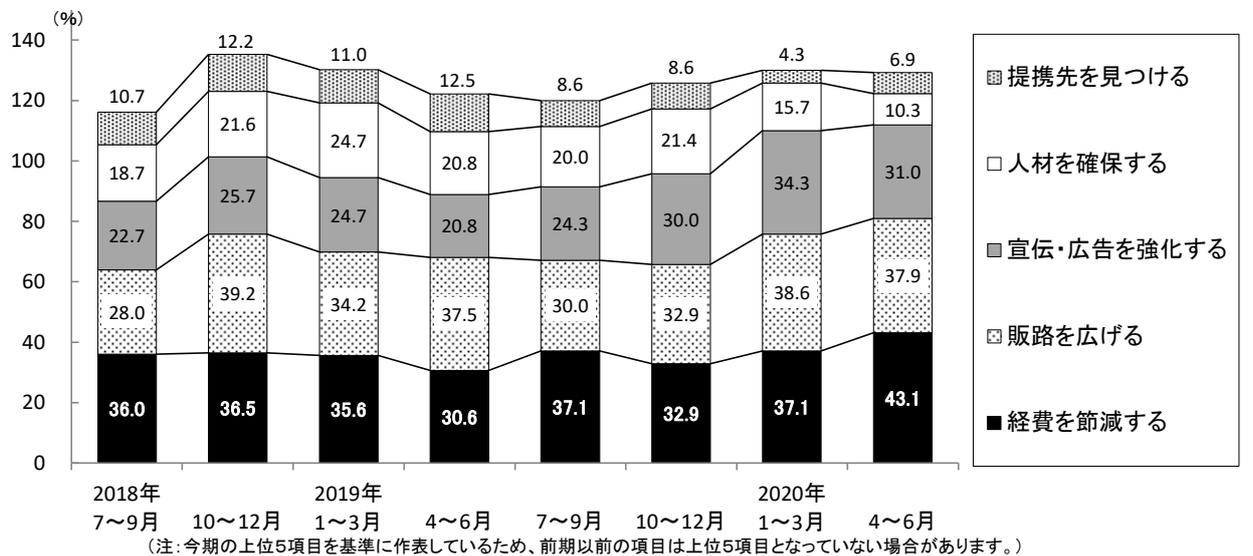
**【サービス業】 経営上の問題点** (複数回答)

2019年7～9月期		2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期	
同業者間の競争の激化	40.0%	同業者間の競争の激化	38.6%	同業者間の競争の激化	45.7%	売上の停滞・減少	62.1%
売上の停滞・減少	34.3%	売上の停滞・減少	32.9%	売上の停滞・減少	31.4%	同業者間の競争の激化	32.8%
人手不足	21.4%	人手不足	22.9%	人手不足	20.0%	人手不足	
利幅の縮小	14.3%	大企業との競争の激化	14.3%	大企業との競争の激化 材料価格の上昇	14.3%	利幅の縮小	12.1%
大企業との競争の激化	12.9%	利幅の縮小 材料価格の上昇	12.9%	利幅の縮小	11.4%	取引先の減少	



**【サービス業】 重点経営施策** (複数回答)

2019年7～9月期		2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期	
経費を節減する	37.1%	経費を節減する	32.9%	販路を広げる	38.6%	経費を節減する	43.1%
販路を広げる	30.0%	販路を広げる		経費を節減する	37.1%	販路を広げる	37.9%
宣伝・広告を強化する	24.3%	宣伝・広告を強化する	30.0%	宣伝・広告を強化する	34.3%	宣伝・広告を強化する	31.0%
人材を確保する	20.0%	人材を確保する	21.4%	技術力を強化する	17.1%	人材を確保する	10.3%
提携先を見つける 労働条件を改善する	8.6%	労働条件を改善する 技術力を強化する	10.0%	人材を確保する	15.7%	提携先を見つける	6.9%



# 建設業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

## （１）業況、売上額、受注残、施工高、収益

業況（1.8→△6.1→△34.8）は悪化傾向が極端に強まりました。

売上額（7.0→3.5→△40.4）は増加から水面下に非常に大きく落込み、受注残（4.3→△0.8→△38.6）と施工高（8.4→△3.4→△37.6）は減少を非常に強めた。収益（△0.1→△6.3→△43.7）も減益幅が極端に拡大した。

来期の見通しについて、業況（△34.0予想）は今期同様の悪化幅で推移すると見込まれている。売上額（△38.0予想）、受注残（△36.2予想）、施工高（△33.5予想）は幾分改善し、収益（△34.9予想）はかなり持ち直すと予想している。

## （２）請負価格、材料価格、在庫数量

請負価格（△2.5→4.0→△9.6）は上昇から下降に大幅に転じ、材料価格（31.6→27.3→17.2）は上昇傾向が大きく弱まった。

在庫数量（△3.7→△5.8→△7.5）は不足感がやや強まった。

来期の見通しについて、請負価格（△14.0予想）は更に下降傾向を強め、材料価格（13.9予想）は上昇が弱まると見ている。在庫数量（△9.1予想）は今期並の不足感が続くと予想している。

## （３）資金繰り、借入金動向

資金繰り（△1.6→△2.2→△15.0）は大幅に厳しさが増すが、借入難易度（11.5→8.0→8.7）は前期同様の容易な状況が続いた。

設備投資を「実施した」企業（33.3%→21.1%→21.6%）は前期から0.5ポイント増加した。

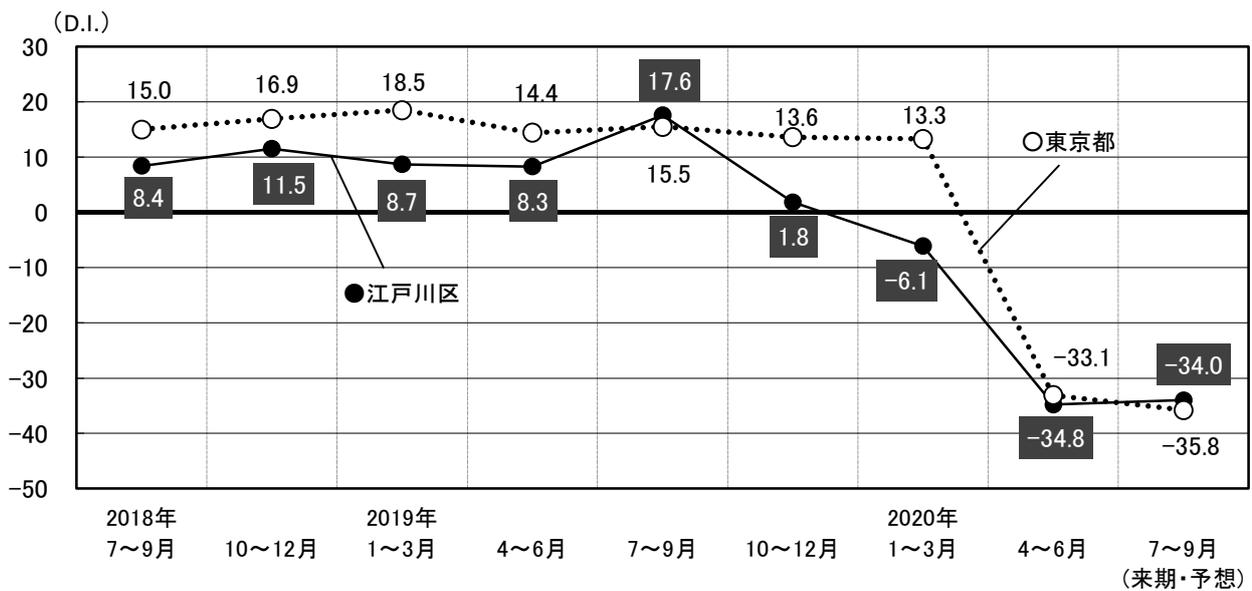
来期の見通しについて、資金繰り（△19.0予想）は厳しさが若干増すと予想している。

## （４）経営上の問題点、重点経営施策

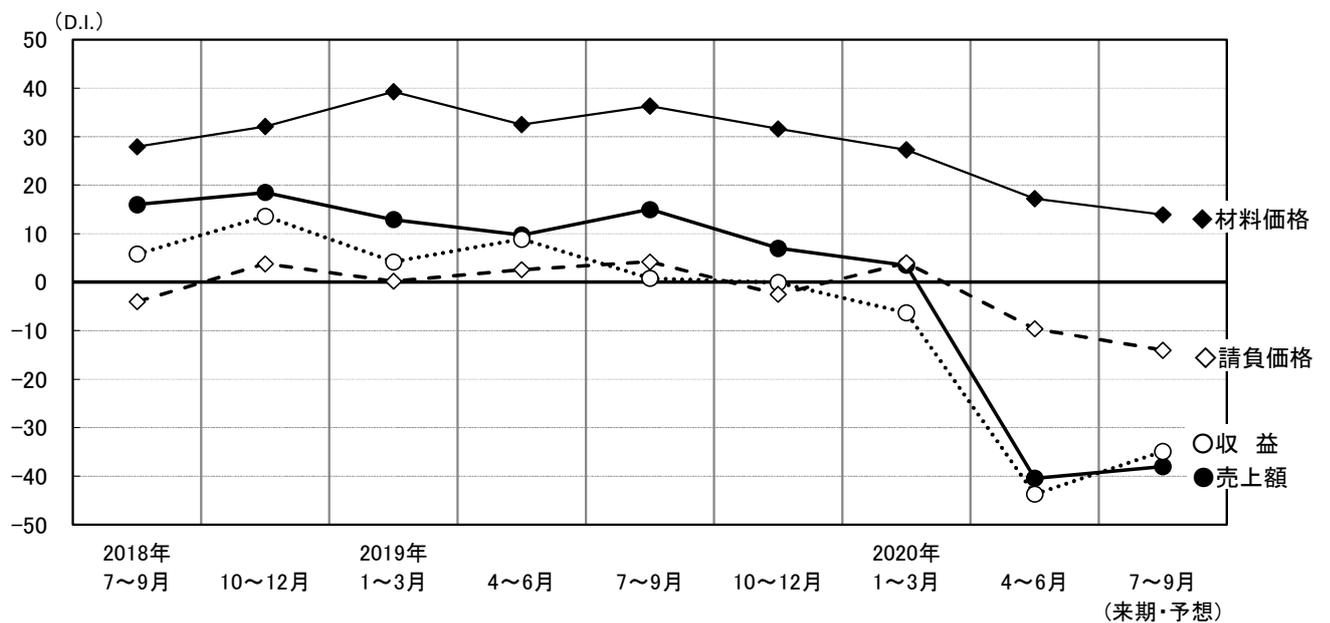
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（49.1%）が今期は最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（28.3%）、「人手不足」（24.5%）、「利幅の縮小」（18.9%）、「下請の確保難」「人件費の増加」（各13.2%）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（47.2%）が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」（37.7%）、「技術力を高める」（26.4%）、「情報力を強化する」（24.5%）、「人材を確保する」（22.6%）の順であった。

【建設業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

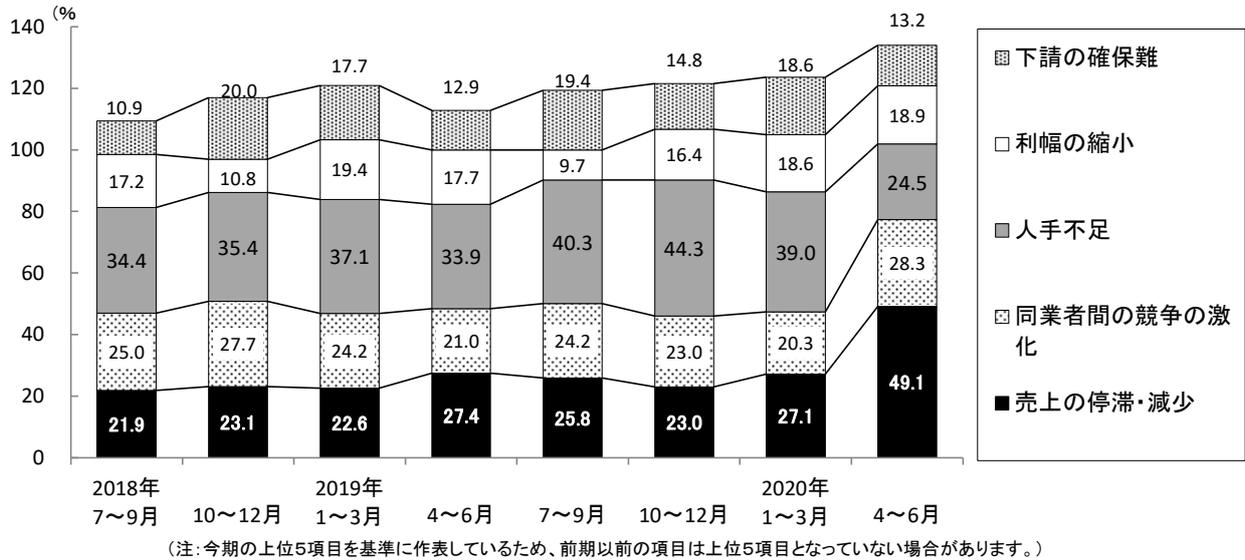


【建設業】 売上額、収益、請負価格、材料価格の推移



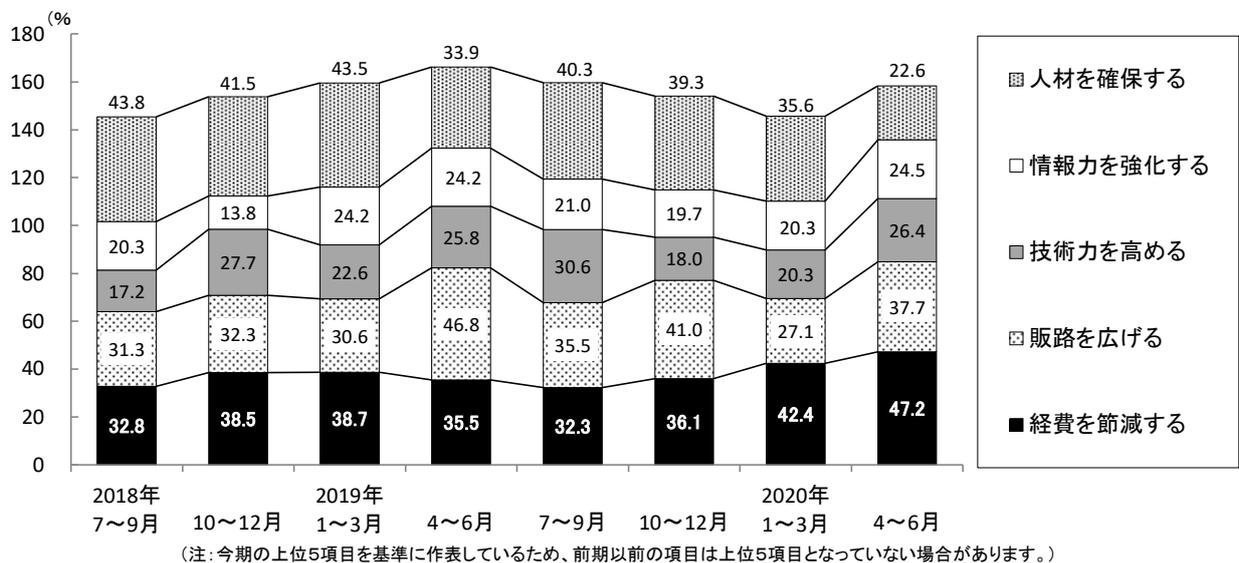
**【建設業】 経営上の問題点** (複数回答)

2019年7～9月期		2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期	
人手不足	40.3%	人手不足	44.3%	人手不足	39.0%	売上の停滞・減少	49.1%
売上の停滞・減少	25.8%	売上の停滞・減少	23.0%	売上の停滞・減少	27.1%	同業者間の競争の激化	28.3%
同業者間の競争の激化	24.2%	同業者間の競争の激化		同業者間の競争の激化	20.3%	人手不足	24.5%
材料価格の上昇	22.6%	人件費の増加 利幅の縮小	16.4%	利幅の縮小 下請の確保難	18.6%	利幅の縮小	18.9%
人件費の増加 下請の確保難	19.4%	下請の確保難 天候の不順	14.8%	材料価格の上昇	15.3%	下請の確保難 人件費の増加	13.2%



**【建設業】 重点経営施策** (複数回答)

2019年7～9月期		2019年10～12月期		2020年1～3月期		2020年4～6月期	
人材を確保する	40.3%	販路を広げる	41.0%	経費を節減する	42.4%	経費を節減する	47.2%
販路を広げる	35.5%	人材を確保する	39.3%	人材を確保する	35.6%	販路を広げる	37.7%
経費を節減する	32.3%	経費を節減する	36.1%	販路を広げる	27.1%	技術力を高める	26.4%
技術力を高める	30.6%	情報力を強化する	19.7%	情報力を強化する 技術力を高める	20.3%	情報力を強化する	24.5%
情報力を強化する	21.0%	技術力を高める	18.0%	教育訓練を強化する	8.5%	人材を確保する	22.6%



## 江戸川区独自の調査から

### [景況全般について]

- ・オリンピック需要一段落とコロナ禍による新規受注停滞により、深刻な状態にある。(製造業)
- ・化粧品容器(金属)は2019年10月頃から不調が続き、コロナ禍でさらに拍車がかかっている状況。売上は6月までで前年比60%~80%の落ち込み、7月以降はさらに悪化。通年でマスクが必要となった為、メイクの需要が減り見通しも立たない状況。(製造業)
- ・4月、5月働いた日数は1.5日。6月は26日現在で9日程仕事をしているが、在庫ができる仕事でないこの先は不安。(製造業)
- ・景気悪化、但し需要がある商品もあり、そちらに重点をシフトして対応検討中。(卸売業, 小売業)
- ・大変悪い。江戸川区でも個人事業者に助成給付金を支給して頂きたい。(卸売業, 小売業)
- ・オリンピック延期がどのように影響を与えるか心配。(建設業)
- ・売上は、かなり厳しいが、IT業界は少し戻ってきた感じがする。(情報通信業)
- ・新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、2月末から続いていた弊社主力事業の大規模イベントの中止や延期がつづき、現状では4~6月に受けていた案件すべてが消失した。現状受けられる、給付や補助の類を全て利用して雇用を維持しているが、6月下旬現在で、10月半ばまでの予定案件全てキャンセルとなっている為、年内には事業継続か廃業かの分岐点を迎えることとなると思われる。(サービス業)
- ・4月、5月は営業自体自粛し、6月より徐々に本来の営業体制に近づけているが、お客の戻りはそれよりも徐々に戻ってはきている。(不動産業, 物品賃貸業)

### [受注・売上・単価・仕事量等について]

- ・売上30%ダウン。自動車関係は状況が悪い。(製造業)
- ・5月まで順調でしたが、6月後半より受注が減ってきた。冒険はしたくないが金額を下げて受注するようになった。(製造業)
- ・コロナの影響で溶接技量試験が2か月延となったので、売り上げが昨年比30パーセントとなり困っている。(製造業)
- ・新型コロナの東京の風評被害で客足が減ってきている。売上どころか仕入れもままならない。(卸売業, 小売業)
- ・4月、5月は良くなかった。6月から少し動き始めた。でも前年同様になるのはまだまだ先になりそう。(建設業)
- ・6月自粛解除により控えていた移動(賃貸)、リフォーム工事が少し戻ってきた。ただし、これからはお客様の収入減が予想されるので、今後は金額・工事件数ともに減少していくと思う。(建設業)
- ・新型コロナで現場が5日間閉所になった。閉所金として一人900円頂いたが、当社は日給のため従業員に80%支払った。まだまだ社会保険料の負担が多く苦慮している。コロナで現場が止まらないことを願うばかり。主な現場で休みが4週8休になり、単価の上昇を希望する。(建設業)
- ・コロナの影響で仕事量は減っているが全く無い状況ではなく凌げる程度。(建設業)
- ・コロナの影響が出ており、5、6月の売り上げは、前年比3割程度となった。6月に入り、やや動きが戻ってきた感はあるが、受注回復には至っていない。今後、3~6ヶ月は、受注減が続くと思っている。弊社の業種や以前の経験などから、その後は、受注が回復するものと予想している。(建設業)
- ・顧客の出荷量が減少しているため作業量および売り上げが急速に低下している。(運輸業, 郵便業)
- ・コロナの影響が大きく影響してきた。お客様が在宅のため仕事の能率が落ち受注が激変してきた。今後どの様な方向に行くか先が見えない。かなりの危機感。(学術研究, 専門・技術サービス業)

### [経営上の課題]

- ・運送事情が悪くなり、ゆうパックの配送事情も悪くなり、同一都内でも郵便局の都合で受け付けてもらえない。お先真っ暗。(卸売業, 小売業)
- ・コロナ禍での事業継続のため、新しいビジネスとしてオンライン化を推し進めている。(情報通信業)
- ・営業に関してはweb予約を取り入れたり、大手の広告を利用しマーケティングの要素もチェックし始めた。基本実店舗営業だが、今回の事でwebでも営業出来る事も考えていきたい。(不動産業, 物品賃貸業)

### [経営改善等に向けての取組み]

- ・社員教育に取り組んでいる。(製造業)
- ・マスクや体温検査・従業員の健康管理や除菌の徹底のほか飛散防止のカウンターを設置するなど、出来ること、考えられる対策を行っている。(卸売業, 小売業)
- ・RPA導入などの効率化(医療, 福祉)

## 江戸川区の企業倒産動向

(2020年4月～6月)

2020年4～6月期の江戸川区の倒産件数は、前期比70.8%減の7件（前期24件）、負債総額は同28.7%減の15億68百万円（同21億98百万円）であった。業種別にみると、件数では“不動産業”と“宿泊業、飲食サービス業”以外の業種でそれぞれ1件ずつであった。負債総額は“小売業”が12億81百万円で最も多く、次いで“建設業”の2億円であった。

### 江戸川区の業種別倒産動向

(単位：件・百万円)

	前年同期 2019年4～6月		前期 2020年1～3月		今期 2020年4～6月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	2	330	1	10	1	200
卸売業	3	470	7	1,715	1	20
小売業	4	280	2	36	1	1,281
サービス業	3	50	3	100	1	10
建設業	4	134	7	183	1	37
不動産業	0	0	1	14	0	0
情報通信業・運輸業	1	50	1	20	1	10
宿泊業、飲食サービス業	0	0	1	20	0	0
その他	0	0	1	100	1	10
合計	17	1,314	24	2,198	7	1,568

## 東京都の企業倒産動向

(2020年4月～6月)

2020年4～6月期の東京都の倒産件数は、前期比31.5%減の267件（前期390件）、負債総額は同26.1%増の788億円（同625億円）であった。業種別にみると、件数では“卸売業”が57件で最も多く、次いで“サービス業”が52件であった。負債総額は“小売業”が235億円で最も多く、以下、“卸売業”が167億円、“宿泊業、飲食サービス業”が90億円となった。

### 1. 概況

(単位：件・億円)

	前年同期 2019年 4～6月	前期 2020年 1～3月	今期 2020年 4～6月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	件数	384	390	267	-31.5%
負債総額	832	625	788	26.1%	-5.3%

### 2. 原因別倒産動向

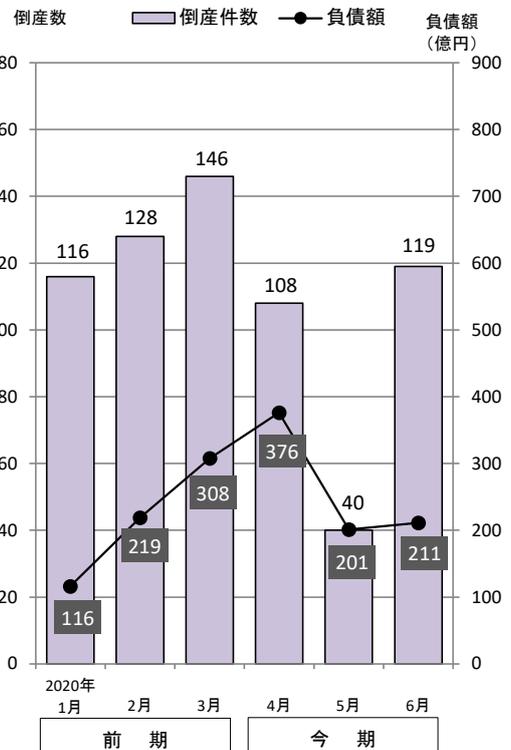
(単位：件)

	前年同期 2019年 4～6月	前期 2020年 1～3月	今期 2020年 4～6月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	販売不振	279	298	184	-38.3%
既往のしわよせ	26	32	25	-21.9%	-3.8%
売掛金等回収難	3	4	2	-50.0%	-33.3%
(不況型計)	308	334	211	-36.8%	-31.5%
放漫経営	29	21	21	0.0%	-27.6%
過小資本	9	13	6	-53.8%	-33.3%
他社倒産の余波	25	19	25	31.6%	0.0%
信用性低下	2	1	1	-	-50.0%
在庫状態悪化	1	0	0	-	-
設備投資過大	1	0	0	-	-
その他	9	2	3	50.0%	-66.7%
合計	384	390	267	-31.5%	-30.5%

### 3. 業種別倒産動向

(単位：件・億円)

	前年同期 2019年4～6月		前期 2020年1～3月		今期 2020年4～6月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	37	68	24	34	20	59
卸売業	62	128	78	125	57	166
小売業	50	149	45	68	25	235
サービス業	84	346	86	216	52	83
建設業	43	33	39	47	24	22
不動産業	16	19	15	35	17	31
情報通信業・運輸業	48	41	46	47	27	35
宿泊業、飲食サービス業	25	11	39	38	30	89
その他	19	37	18	15	15	67
合計	384	832	390	625	267	788



特別調査 「新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業の影響について」 (2020年6月上旬調査)

注1. 以下に示す割合は区内の中小企業(全6業種=468事業所)の回答を集計したものです。業種別の分析については企業数の少ない「卸売業」「不動産業」を除いた4業種についてのみ行っています。

注2. 回答により100%にならないこともあります。

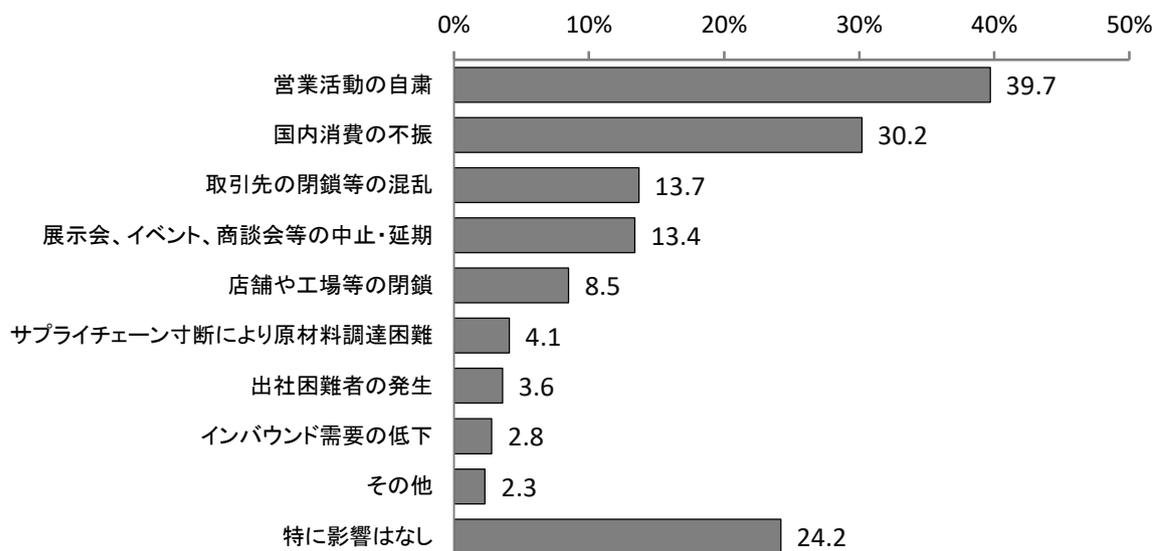
本調査結果の特徴	① 影響について	「営業活動の自粛」39.7% 「国内消費の不振」30.2%
	② 対応策について	「生産量・営業時間の縮小」52.6% 「パートなど非正規社員の勤務時間削減」10.7%
	③ 今期(4~6月)の売り上げの変化(例年の4~6月比)について	『売上が減少した』48.8% 『売上が増加した』7.6% 「ほぼ変化なし(10%未満の増減)」43.6%
	④ 資金繰り支援制度及び政府による支援策の利用状況	資金繰り支援制度:『利用意向ある』61.8% 政府による支援策:『利用意向ある』61.3%
	⑤ コロナ影響前の現預金の保有程度と2020年中の資金繰り	現預金の保有程度:「売上の3か月分以上」(17.1%) 「売上の1~3か月分」(39.5%)「ほとんど保有していない」(7.8%) 2020年中の資金繰り:『不安がある』(61.0%)『不安はない』(38.2%)

問1. 影響について

区内の中小企業を対象に、自社の事業活動による新型コロナウイルスの影響及びその内容について伺った(最大3項目まで)。その結果、影響を受けた内容として「営業活動の自粛」が 39.7%と最も多く、次いで「国内消費の不振」(30.2%)、「取引先の閉鎖等の混乱」(13.7%)、「展示会、イベント、商談会等の中止・延期」(13.4%)となった。半面、「特に影響なし」との回答が 24.2%あった。

業種別に見ると、「営業活動の自粛」は“サービス業”(54.4%)と“建設業”(43.4%)で高く、「国内消費の不振」は“小売業”(36.1%)、「取引先の閉鎖等の混乱」は“建設業”(20.8%)で高くなった。

表1 新型コロナウイルスによる影響について



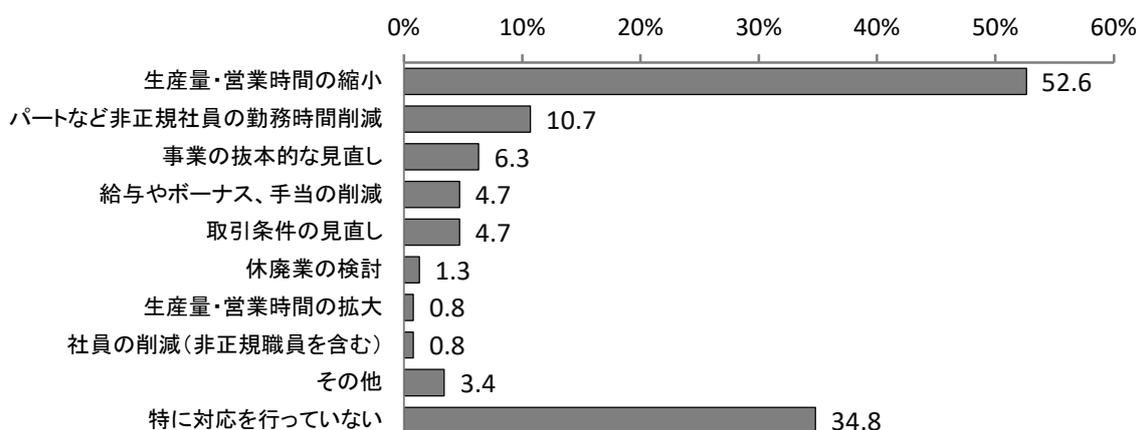
※回答により 100%にならないこともあります。

## 問2. 対応策について

次に、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、自社でどのような対応をとっているか調査した(最大3項目まで)。その結果、「生産量・営業時間の縮小」と回答された企業が52.6%と最も多く、以下、「パートなど非正規社員の勤務時間削減」(10.7%)、「事業の抜本的な見直し」(6.3%)、「給与やボーナス、手当の削減」と「取引条件の見直し」(各4.7%)となった。一方、「特に対応を行っていない」が34.8%と全体の3分の1あった。

業種別に見ると、「生産量・営業時間の縮小」は、すべての業種で最も割合が高く、「パートなど非正規社員の勤務時間削減」は“サービス業”(19.6%)で高い割合であった。また、「特に対応を行っていない」は“小売業”(44.4%)で最も高い割合であった。

表2 新型コロナウイルスによる対応について



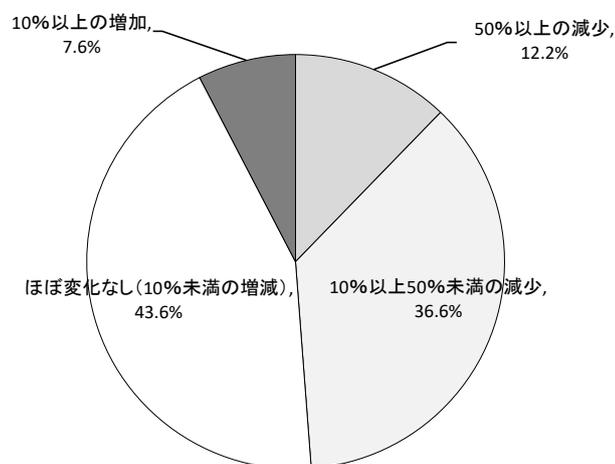
※回答により100%にならないこともあります。

## 問3. 今期(4~6月)の売上変化(例年の4~6月比)について

自社における今期(4~6月)の売上が、新型コロナウイルスの影響がなかった場合(例年の4~6月)と比較して、どの程度変化したか調査したところ、「50%以上の減少」(12.2%)と「10%以上50%未満の減少」(36.6%)を合わせた『売上げが減少した』と回答した企業は48.8%となった。「ほぼ変化なし(10%未満の増減)」は43.6%で、「10%以上の増加」は7.6%であった。

業種別に見ると、『売上げが減少した』は“小売業”(54.2%)が最も高かったが「50%以上の減少」に限ってみると“サービス業”(20.0%)が最も高かった。

表3 今期(4~6月)の売上変化(例年の4~6月比)



※回答により100%にならないこともあります。

問4. 資金繰り支援制度及び政府による支援策の利用状況

次に、都や区市町村の制度融資など、新型コロナ対応の資金繰り支援制度の利用状況について伺ったところ、「すでに利用した」(17.3%)、「申請中である」(16.3%)、「今後、利用する可能性がある」(28.2%)を合わせた『利用意向ある』は61.8%となった。一方、「今後も利用するつもりはない」が37.5%であった。

更に、補助金や給付金など政府による支援策の利用状況について伺ったところ、「すでに利用した」(5.2%)、「申請中である」(14.2%)、「今後、利用する可能性がある」(41.9%)を合わせた『利用意向ある』は61.3%となった。一方、「今後も利用するつもりはない」が33.9%であった。

業種別にみると、資金繰り支援制度の『利用意向ある』は“建設業”(80.8%)が最も高く、政府による支援策の『利用意向ある』も“建設業”(71.1%)が最も高い割合であった。

表4 資金繰り支援制度の利用状況

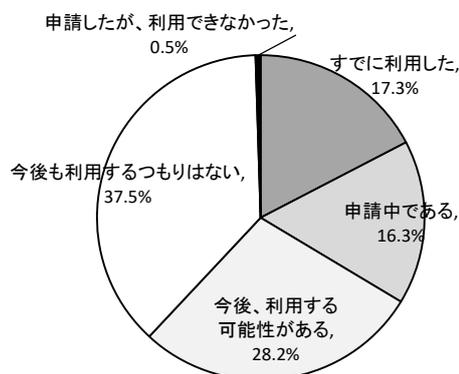
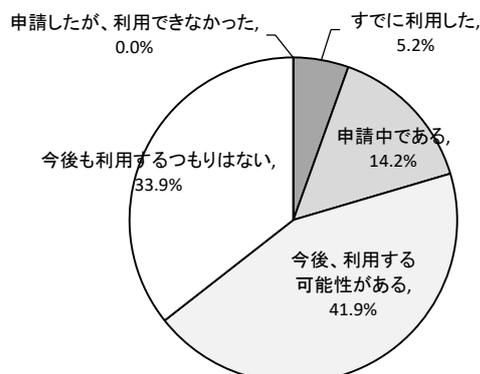


表5 政府による支援策の利用状況



※回答により100%にならないこともあります。

問5. コロナ影響前の現預金の保有程度と2020年中の資金繰り

最後に、新型コロナウイルスの影響が出る以前に災害や急な不況に備えて現預金をどの程度保有していたか、現預金の保有が最も少ない時期(売掛金の回収直前)を想定したうえでの保有程度と、2020年中の資金繰りについて伺った。その結果、現預金の保有程度について、「売上の1~3か月分」が39.5%で最も多かった。次いで「売上の2週間分未満」(17.7%)、「売上の3か月分以上」(17.1%)と続いた。また、「ほとんど保有していない」は7.8%であった。

また、2020年中の資金繰りについては、「やや不安がある」が49.6%で最も高く、「かなり不安がある」(11.4%)を合わせた『不安がある』は61.0%となった。反対に「不安はない」(14.0%)と「あまり不安はない」(24.2%)を合わせた『不安はない』は38.2%であった。

業種別に見ると、現預金の保有程度で、「ほとんど保有していない」は“サービス業”(12.7%)が最も高く、2020年中の資金繰りで、『不安がある』も“サービス業”(70.9%)が最も高い割合であった。

表6 現預金の保有程度

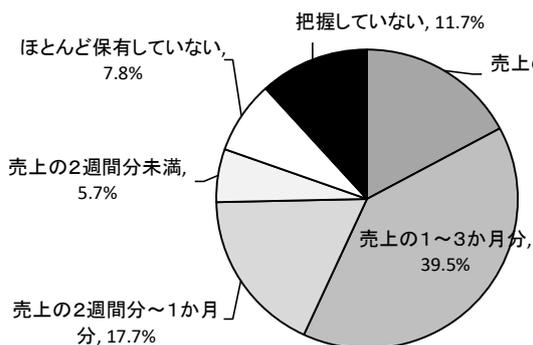
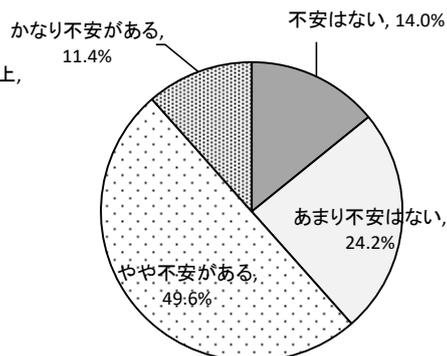


表7 2020年中の資金繰り



※回答により100%にならないこともあります。

		問1 新型コロナウイルスによる影響											問2 新型コロナウイルス感染拡大への対応											
		回答数	営業活動の自粛	国内消費の不振	取引先の閉鎖等の混乱	展示会、イベント、商談等の中止・延期	店舗や工場等の閉鎖	サプライチェーン寸断により原材料調達困難	出社困難者の発生	インバウンド需要の低下	その他	特に影響はなし	回答数	生産量・営業時間の縮小	パートなど非正規社員の勤務時間削減	事業の抜本的な見直し	削減	給与やボーナス、手当の削減	取引条件の見直し	休廃業の検討	生産量・営業時間の拡大	社員の削減（非正規職員を含む）	その他	特に対応を行っていない
全業種	業種	388	39.7	30.2	13.7	13.4	8.5	4.1	3.6	2.8	2.3	24.2	382	52.6	10.7	6.3	4.7	4.7	1.3	0.8	0.8	3.4	34.8	
製造業	業種	162	30.9	31.5	14.2	14.2	9.3	7.4	3.1	4.3	1.2	24.7	160	49.4	10.0	5.6	5.0	5.0	1.3	1.9	1.3	4.4	35.0	
従業者規模	1人～4人	81	23.5	25.9	16.0	11.1	11.1	7.4	1.2	3.7	-	29.6	80	37.5	5.0	8.8	3.8	5.0	2.5	3.8	1.3	-	46.3	
	5人～9人	46	30.4	30.4	15.2	21.7	4.3	6.5	-	6.5	4.3	26.1	46	58.7	15.2	4.3	4.3	6.5	-	-	2.2	8.7	23.9	
	10人～19人	17	58.8	52.9	11.8	17.6	5.9	11.8	5.9	-	-	-	17	70.6	11.8	-	11.8	5.9	-	-	-	11.8	17.6	
	20人～29人	9	44.4	55.6	-	-	22.2	-	-	11.1	-	11.1	8	75.0	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
	30人～39人	2	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
	40人～49人	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	50人～99人	5	40.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	5	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0
	100人～199人	1	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
形態・立地	問屋・商社	17	29.4	35.3	29.4	29.4	5.9	-	11.8	-	5.9	17.6	17	41.2	5.9	17.6	11.8	-	-	-	-	5.9	35.3	
	大メーカー	22	40.9	22.7	22.7	13.6	9.1	4.5	-	-	-	31.8	20	35.0	10.0	5.0	5.0	-	-	-	-	-	55.0	
	中小メーカー・仲間業者	94	27.7	31.9	12.8	11.7	9.6	10.6	2.1	3.2	1.1	22.3	95	53.7	9.5	3.2	3.2	4.2	2.1	3.2	2.1	5.3	29.5	
	小売業者	15	33.3	33.3	6.7	26.7	13.3	6.7	6.7	20.0	-	20.0	15	60.0	20.0	13.3	6.7	20.0	-	-	-	-	33.3	
	最終需要家	11	36.4	27.3	-	-	9.1	-	-	-	-	54.5	11	27.3	9.1	-	-	9.1	-	-	-	-	9.1	54.5
業況	良い	5	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	80.0	5	40.0	-	-	-	-	-	20.0	-	-	40.0	
	普通	82	24.4	14.6	17.1	8.5	7.3	3.7	4.9	3.7	-	37.8	81	43.2	8.6	4.9	1.2	7.4	1.2	1.2	2.5	1.2	42.0	
	悪い	75	40.0	52.0	12.0	21.3	12.0	10.7	1.3	5.3	2.7	6.7	74	56.8	12.2	6.8	9.5	2.7	1.4	1.4	-	8.1	27.0	
小売業	業種	72	37.5	36.1	12.5	9.7	8.3	1.4	2.8	1.4	1.4	27.8	72	50.0	9.7	2.8	1.4	1.4	2.8	-	-	-	44.4	
従業者規模	1人～4人	59	40.7	30.5	10.2	10.2	5.1	1.7	1.7	-	1.7	28.8	59	49.2	8.5	3.4	1.7	1.7	3.4	-	-	-	45.8	
	5人～9人	5	40.0	80.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0	5	60.0	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	
	10人～19人	5	20.0	60.0	20.0	-	60.0	-	20.0	-	-	-	5	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	
	20人～29人	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	30人～39人	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40人～49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50人～99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
形態・立地	駅周辺商店街	11	45.5	45.5	9.1	27.3	18.2	-	-	-	-	9.1	11	63.6	9.1	-	-	-	-	-	-	-	27.3	
	住宅地隣接商店街	32	40.6	40.6	15.6	6.3	3.1	3.1	-	3.1	3.1	25.0	32	56.3	12.5	3.1	-	3.1	-	-	-	-	40.6	
	団地内商店街	5	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	80.0	5	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.0
	その他	19	31.6	31.6	5.3	5.3	15.8	-	10.5	-	-	31.6	19	42.1	10.5	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-	52.6
業況	良い	5	40.0	40.0	20.0	-	20.0	-	40.0	-	-	20.0	5	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0
	普通	32	28.1	25.0	6.3	9.4	3.1	3.1	-	-	3.1	43.8	32	50.0	9.4	-	-	3.1	-	-	-	-	46.9	
	悪い	32	46.9	46.9	18.8	12.5	12.5	-	-	3.1	-	12.5	32	53.1	9.4	6.3	3.1	3.1	3.1	-	-	-	-	37.5
サービス業	業種	57	54.4	24.6	12.3	14.0	5.3	-	1.8	1.8	3.5	21.1	56	55.4	19.6	7.1	5.4	3.6	1.8	-	-	-	1.8	30.4
従業者規模	1人～4人	39	59.0	28.2	7.7	5.1	2.6	-	-	-	5.1	17.9	38	57.9	15.8	2.6	5.3	5.3	-	-	-	-	-	31.6
	5人～9人	5	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	-	60.0	5	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0
	10人～19人	5	80.0	20.0	20.0	40.0	-	-	-	-	-	20.0	5	60.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-
	20人～29人	2	50.0	-	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	2	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	30人～39人	2	-	-	50.0	100.0	-	-	-	50.0	-	-	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	40人～49人	1	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	50人～99人	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	100人～199人	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
業況	良い	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	
	普通	24	41.7	20.8	4.2	4.2	-	-	-	-	4.2	37.5	24	45.8	16.7	-	-	8.3	-	-	-	-	45.8	
	悪い	32	65.6	28.1	18.8	18.8	9.4	-	3.1	3.1	3.1	9.4	31	64.5	22.6	12.9	9.7	-	3.2	-	-	-	-	19.4
建設業	業種	53	43.4	15.1	20.8	15.1	9.4	5.7	5.7	1.9	3.8	28.3	52	57.7	3.8	9.6	5.8	3.8	-	-	-	1.9	7.7	28.8
従業者規模	1人～4人	20	35.0	20.0	25.0	5.0	5.0	10.0	-	-	-	10.0	30.0	19	57.9	-	5.3	5.3	-	-	-	-	-	31.6
	5人～9人	13	38.5	23.1	23.1	23.1	15.4	7.7	7.7	-	-	23.1	13	46.2	-	23.1	7.7	15.4	-	-	-	-	7.7	30.8
	10人～19人	9	44.4	11.1	11.1	33.3	11.1	-	-	11.1	-	44.4	9	44.4	11.1	11.1	-	-	-	-	-	11.1	22.2	33.3
	20人～29人	6	66.7	-	33.3	-	-	-	16.7	-	-	16.7	6	83.3	-	-	16.7	-	-	-	-	-	16.7	16.7
	30人～39人	3	66.7	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	3	100.0	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40人～49人	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	50人～99人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100人～199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人～300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
形態・立地	官公庁	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
	大企業	12	58.3	8.3	33.3	33.3	25.0	-	16.7	-	-	25.0	12	75.0	8.3	16.7	8.3	-	-	-	8.3	8.3	16.7	
	中小企業	25	44.0	16.0	20.0	12.0	8.0	8.0	4.0	4.0	-	28.0	25	56.0	-	8.0	-	4.0	-	-	-	-	12.0	28.0
	個人	11	45.5	27.3	9.1	-	-</																	



		問5 新型コロナ影響前の現預金の保有程度と2020年中の資金繰り										
		回 答 数	現預金の保有程度					2020年中の資金繰り				
			売 上 の 3 か 月 以 上	売 上 の 1 〜 3 か 月 分	月 売 上 の 2 週 間 分 〜 1 か	売 上 の 2 週 間 分 未 満	い ほ ん ど 保 有 し て い な い	把 握 し て い な い	不 安 は な い	あ ま り 不 安 は な い	や や 不 安 が あ る	か な り 不 安 が あ る
全	業 業 業	385	17.1	39.5	17.7	5.7	7.8	11.7	14.0	24.2	49.6	11.4
製	造	163	16.6	41.1	19.6	6.1	4.9	11.7	10.4	29.4	48.5	11.0
	従業者規模											
	1人~4人	82	11.0	42.7	17.1	4.9	4.9	19.5	13.4	26.8	46.3	13.4
	5人~9人	46	17.4	45.7	17.4	6.5	8.7	4.3	8.7	28.3	54.3	6.5
	10人~19人	17	23.5	29.4	35.3	11.8	-	-	-	47.1	47.1	5.9
	20人~29人	9	44.4	33.3	11.1	-	-	11.1	-	55.6	33.3	11.1
	30人~39人	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	50.0
	40人~49人	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	50人~99人	5	-	40.0	40.0	20.0	-	-	20.0	-	60.0	20.0
	100人~199人	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	形態・立地											
	問屋・商社	17	17.6	41.2	11.8	11.8	-	17.6	11.8	17.6	47.1	23.5
	大メーカー	22	27.3	31.8	27.3	-	4.5	9.1	22.7	31.8	22.7	22.7
	中小メーカー・仲間業者	95	11.6	43.2	20.0	7.4	6.3	11.6	8.4	30.5	54.7	6.3
	小売業者	15	6.7	46.7	20.0	6.7	6.7	13.3	-	33.3	46.7	13.3
	最終需要家	11	36.4	36.4	18.2	-	-	9.1	18.2	36.4	45.5	-
	業 況											
	良 い	5	40.0	-	40.0	20.0	-	-	40.0	20.0	40.0	-
	普 通	82	17.1	43.9	18.3	6.1	3.7	11.0	14.6	39.0	43.9	2.4
	悪 い	76	14.5	40.8	19.7	5.3	6.6	13.2	3.9	19.7	53.9	21.1
小	売 業	71	11.3	40.8	14.1	8.5	8.5	16.9	15.5	21.1	54.9	8.5
	従業者規模											
	1人~4人	58	8.6	43.1	12.1	10.3	6.9	19.0	15.5	17.2	60.3	6.9
	5人~9人	5	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0
	10人~19人	5	-	40.0	40.0	-	20.0	-	-	20.0	60.0	20.0
	20人~29人	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	30人~39人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	40人~49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50人~99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100人~199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	形態・立地											
	駅周辺商店街	11	9.1	45.5	18.2	-	18.2	9.1	18.2	-	63.6	18.2
	住宅地隣接商店街	31	12.9	35.5	12.9	12.9	3.2	22.6	19.4	25.8	48.4	6.5
	団地内商店街	5	-	40.0	-	-	20.0	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0
	その他	19	15.8	31.6	21.1	10.5	10.5	10.5	10.5	15.8	68.4	5.3
	業 況											
	良 い	5	40.0	20.0	40.0	-	-	-	40.0	-	60.0	-
	普 通	31	6.5	35.5	16.1	9.7	9.7	22.6	19.4	25.8	54.8	-
	悪 い	32	12.5	43.8	9.4	9.4	9.4	15.6	9.4	15.6	56.3	18.8
サ	ー ビ ス 業	55	12.7	36.4	20.0	7.3	12.7	9.1	16.4	12.7	50.9	20.0
	従業者規模											
	1人~4人	37	2.7	24.3	29.7	10.8	16.2	13.5	10.8	13.5	56.8	18.9
	5人~9人	5	40.0	60.0	-	-	-	-	40.0	20.0	20.0	20.0
	10人~19人	5	-	100.0	-	-	-	-	-	20.0	20.0	60.0
	20人~29人	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	30人~39人	2	-	100.0	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-
	40人~49人	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	50人~99人	2	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-
	100人~199人	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業 況											
	良 い	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	普 通	23	17.4	26.1	17.4	17.4	8.7	13.0	26.1	17.4	56.5	-
	悪 い	31	9.7	41.9	22.6	-	16.1	6.5	6.5	9.7	48.4	35.5
建	設 業	52	25.0	40.4	15.4	1.9	7.7	7.7	19.2	15.4	50.0	13.5
	従業者規模											
	1人~4人	19	26.3	26.3	26.3	5.3	10.5	5.3	10.5	-	63.2	21.1
	5人~9人	13	23.1	46.2	7.7	-	7.7	7.7	15.4	15.4	53.8	15.4
	10人~19人	9	11.1	44.4	11.1	-	11.1	22.2	33.3	22.2	44.4	-
	20人~29人	6	50.0	33.3	16.7	-	-	-	16.7	50.0	16.7	16.7
	30人~39人	3	33.3	66.7	-	-	-	-	66.7	-	33.3	-
	40人~49人	1	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	50人~99人	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	100人~199人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	200人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	形態・立地											
	官公庁	3	66.7	-	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3
	大企業	12	33.3	50.0	8.3	-	-	8.3	25.0	33.3	33.3	8.3
	中小企業	25	8.0	48.0	20.0	4.0	8.0	8.0	16.0	8.0	64.0	12.0
	個人	10	50.0	30.0	10.0	-	10.0	-	20.0	10.0	50.0	10.0
	業 況											
	良 い	3	33.3	33.3	-	-	-	33.3	66.7	-	33.3	-
	普 通	26	19.2	38.5	19.2	3.8	7.7	11.5	23.1	15.4	46.2	15.4
	悪 い	23	30.4	43.5	13.0	-	8.7	-	8.7	17.4	56.5	13.0

# 東京都全体の中小企業の景況 (2020年4月～6月期)

業況はコロナ禍で記録的な落ち込み ～リーマン・ショック後の水準まで急激に悪化～

都内中小企業の景況・6業種合計 (D.I.)



業況判断DI (季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合)は△46.3 (前期は△8.1) と前期に比べ38.2ポイント急落し、10年ぶりの低水準となった。リーマン・ショック後の2009年10～12月期 (△52.3) に次ぐ2番目の低水準で、落ち込み幅は過去30年で最も大きいものとなった。

業種別では、サービス業の落ち込みが最も大きく、△50.6とリーマン・ショック後の△47.1を下回った。卸売業・小売業も消費の落ち込みを受け△50を超えた。好調であった建設業・不動産業においてもマイナス値に転じるなど、急激に悪化した。

来期は、経済活動の再開で消費行動が戻ることを期待し、小売業・サービス業で下げ止まりを予想するものの停滞、製造業では横ばい、卸売業・建設業・不動産業においては更に悪化すると予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-13.0	-47.3	-34.3	-47.0	0.3
卸売業	-14.7	-50.8	-36.1	-51.8	-1.0
小売業	-19.2	-50.1	-30.9	-48.7	1.4
サービス業	-2.8	-50.6	-47.8	-46.7	3.9
建設業	13.3	-33.1	-46.4	-35.8	-2.7
不動産業	2.1	-35.9	-38.0	-39.4	-3.5
総合	-8.1	-46.3	-38.2	-46.0	0.3

※前期 (2020年1～3月) 来期 (2020年7～9月)

## <製造業>

業況はサプライチェーンの寸断による原材料調達の困難、これに伴う生産停止などの影響により、△47.3まで急激に悪化した。売上額・受注残・収益ともに減少幅が拡大した。価格面では販売価格は更に下降を強め、原材料価格の上昇傾向も弱まりを見せた。資金繰りは収益状況の厳しさもあり、予想以上に苦しくなり、在庫はわずかに過剰から品薄へと転じた。

経営上の問題点の上位項目は「売上の停滞・減少」(45%)、「同業者間の競争の激化」(20%)、3位に「利幅の縮小」(13%)となった。重点経営施策の上位項目については「販路を広げる」(46%)、「経費を節減する」(40%)、3位に「情報力を強化する」(13%)が上昇している。

来期の業況は今期並の厳しさが続いて推移すると予想している。売上額・受注残・収益については減少・減益幅が若干縮小するも厳しい状況と見ている。価格面では販売価格の下降は続き、原材料価格も低下基調で推移すると予想している。

## <小売業>

業況はインバウンド需要の激減、営業自粛、外出制限などで需給が下がり、続いていた厳しさを急速に強めて冷え込んだ。売上額・収益ともに大幅に悪化した。とりわけ飲食店の悪化が顕著であった。価格面では仕入価格の上昇は弱まり収まり感を見せたものの、販売価格が下降に転じ厳しさを強めたため、資金繰りは続いていた厳しさが更に強まった。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が41%から49%に拡大した。重点経営施策では前期同様に「経費を節減する」(37%)、「品揃えを改善する」(26%)、「宣伝・広告を強化する」(20%)となっている。

来期の業況は活動自粛・移動制限の解除などで消費活動の戻りを期待するが、低迷が続くと予想している。売上額・収益・販売価格は今期並の減少・低下基調が続き、仕入価格は変動なく推移すると見ている。

## <サービス業>

業況は△50.6とリーマン・ショック後の2009年10～12月期 (△47.1)を下回り、前期に比べ47.8ポイント急落した。売上額・収益ともに減少し、予想を大きく上回る落ち込みとなった。急激な売上額の減少が収益を圧迫している様子が見てとれる。価格面では料金価格は上昇から下降に転じ、材料価格は上昇の高止まりが収まった。資金繰りは売上額・収益が大幅に減少したため、厳しさが一気に加速し苦しさを強めた。一方、人手は不足感が緩和されている。

経営上の問題点の上位項目は順位が変わり、1位に「売上の停滞・減少」(41%)が上昇し、「同業者間の競争の激化」(25%)、「人手不足」(11%)の順となっている。重点経営施策の上位項目についても前回と上位が入れ替わり「経費を節減する」(33%)、「販路を広げる」(28%)の順となり、3位に「宣伝・広告を強化する」(16%)が続いている。

来期の業況は急落が下げ止まり、若干の回復が見られると予想している。売上額・収益についても減少・減益幅が縮小すると見ている。価格面では料金価格は今期並の低下基調で推移し、材料価格は続いていた上昇傾向が止まると予想している。

## <建設業>

業況は堅調に推移していたものの、△33.1と大幅に悪化した。売上額・受注残・施工高・収益についても増加傾向から大幅な減少に転じた。価格面では材料価格の上昇が緩やかなものとなったものの、請負価格が下降に転じて厳しさを強め、資金繰りは苦しさを増している。

経営上の問題点の上位項目は1位に「売上の停滞・減少」(34%)が上昇し、「同業者間の競争の激化」(21%)、「人手不足」(20%)の順となった。重点経営施策の上位項目は「経費を節減する」(36%)、「販路を広げる」(32%)、3位に「人材を確保する」(22%)が続いている。

来期の業況は更に悪化すると予想している。売上額・受注残・施工高・収益ともに減少が続くと見ている。価格面では請負価格は今期並の下降が続き、材料価格は変動なく推移すると見ている。資金繰りは今期並の苦しさが続くと予想している。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

# 江戸川区と東京都全体の比較表

(2020年4月～6月期)

## 製造業

### 【今期実績の比較】

	全体		食料品		一般、金型、電気、輸送、精密機械器具		金属製品、建設用金属製品		パルプ・紙・紙加工品、出版業、印刷業、製版業、製本業		パルプ・紙、印刷、製本業		木材・木製品、家具・装備品		繊維工業、衣服・その他繊維製品		プラスチック製品		
	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	
業況	-40	-47	-33	-50	-45	-44	-30	-41	-44	-58	-44	-58	-57	-44	-64	-58	-6	-41	
売上額	-42	-48	-36	-49	-41	-38	-34	-44	-48	-58	-48	-56	-56	-49	-62	-55	-14	-44	
受注残	-42	-46	-36	-49	-42	-38	-42	-44	-41	-53	-41	-53	-46	-47	-61	-47	-18	-41	
収益	-41	-47	-36	-53	-41	-36	-34	-44	-52	-57	-52	-57	-57	-48	-40	-54	-13	-45	
販売価格	-11	-9	1	-6	-13	-5	-10	-10	-11	-14	-11	-14	-11	-12	-27	-22	8	-6	
原材料価格	2	3	19	6	-8	4	19	5	4	-2	4	-2	-4	2	0	-2	4	9	
原材料在庫	-2	0	12	4	-6	-1	6	-3	-4	-1	-4	-2	-12	3	-12	-1	0	0	
資金繰り	-31	-29	-18	-36	-38	-23	-14	-26	-30	-36	-30	-35	-51	-34	-56	-35	-19	-25	
雇用	残業時間	-26	-24	-9	-21	-20	-22	-26	-20	-48	-36	-48	-36	-25	-27	-33	-26	-7	-19
	人手	0	-4	9	-12	-10	-6	0	-5	9	1	9	1	0	-7	11	-2	0	0
同期比	売上額	-49	-55	-46	-51	-50	-47	-48	-55	-57	-66	-57	-65	-58	-55	-56	-54	-14	-50
	収益	-47	-54	-36	-56	-53	-47	-44	-53	-57	-63	-57	-63	-58	-55	-33	-54	-14	-50
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	49	45	55	53	30	33	41	41	61	59	61	57	83	53	44	52	57	42
	② 同業者間の競争の激化	17	20	27	20	10	16	11	17	26	30	26	31	8	28	22	29	7	17
	③ 利幅の縮小	13	13	-	10	20	10	11	16	22	14	22	13	17	13	-	16	7	15
	④ 原材料高	12	8	9	19	13	5	19	10	9	6	9	6	-	5	33	6	7	12
	⑤ 工場・機械の狭小・老朽化	9	6	9	6	3	4	15	8	13	5	13	5	-	3	-	2	7	8
重点経営施策	① 販路を広げる	53	46	55	54	47	37	37	44	61	53	61	53	58	60	33	49	79	46
	② 経費を節減する	40	40	46	42	37	31	19	43	48	48	48	46	42	42	56	47	29	33
	③ 情報力を強化する	12	13	18	11	17	11	7	11	13	13	13	12	8	7	-	13	-	14
	④ 新製品・技術を開発する	9	9	9	15	10	8	7	6	13	7	13	6	-	3	11	8	14	14
	⑤ 人材を確保する	9	10	-	12	13	10	7	12	13	7	13	7	-	14	-	7	14	9
借入の難易度	-4	3	0	-1	-7	6	4	7	0	0	0	0	0	0	-22	-5	0	1	

### 【来期見通しの比較】

業況	-44	-47	-28	-48	-56	-45	-41	-42	-51	-55	-51	-56	-38	-43	-50	-49	-24	-44	
売上額	-39	-44	-28	-40	-34	-36	-48	-43	-50	-52	-50	-52	-33	-47	-53	-43	-13	-41	
受注残	-37	-41	-27	-40	-29	-34	-41	-39	-49	-50	-49	-51	-24	-39	-53	-38	-14	-34	
収益	-39	-42	-25	-40	-30	-34	-40	-40	-56	-52	-56	-53	-34	-41	-42	-42	-19	-41	
販売価格	-14	-11	-7	-11	-7	-5	-13	-12	-15	-14	-15	-14	-10	-12	-17	-18	0	-10	
原材料価格	1	2	2	0	-6	2	18	3	5	-2	5	-3	-2	4	9	2	-1	10	
原材料在庫	-5	-3	6	-6	-7	-2	1	-4	-5	-4	-5	-6	-12	2	-12	-2	7	1	
資金繰り	-31	-30	-26	-36	-38	-25	-27	-29	-26	-33	-26	-32	-36	-34	-46	-27	-25	-25	
雇用	残業時間	-21	-21	-9	-16	-3	-18	-22	-17	-48	-32	-48	-33	-17	-20	-33	-20	-7	-21
	人手	-5	-5	0	-16	-7	-5	-4	-6	-4	-1	-4	-1	0	-6	0	-6	-7	-4

\* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

\* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 小売業

## 【今期実績の比較】

		全 体		家具・じゅう器、 家電・家庭用機械		飲食料品		衣服、呉服、 身の回り品	
		江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況		-38	-50	-31	-54	-41	-44	-38	-57
売上額		-44	-52	-29	-59	-41	-43	-30	-60
収益		-36	-51	-28	-54	-37	-44	-30	-59
販売価格		-15	-9	-15	-11	-10	-3	-9	-17
仕入価格		-10	1	-14	0	-7	4	-7	-4
在庫		-6	0	-12	-2	-8	-2	-7	11
資金繰り		-29	-33	-40	-29	-37	-29	-12	-43
雇用	残業時間	-19	-17	-14	-17	-15	-12	-27	-19
	人手	-7	-3	-14	-6	-15	-5	0	-2
同期比	売上額	-45	-57	-29	-64	-45	-46	-36	-66
	収益	-41	-56	-29	-63	-45	-46	-36	-66
	販売価格	-13	-10	-14	-7	-11	-6	-9	-16
経営上の 問題点	① 売上の停滞・減少	46	49	25	49	50	42	36	57
	② 大型店との競争の激化	31	20	38	30	29	25	55	19
	③ 同業者間の競争の激化	18	18	-	17	7	16	46	19
	④ 商店街の集客力の低下	12	12	25	7	14	13	9	15
	⑤ 利幅の縮小	7	10	13	9	7	9	-	11
重点経営 施策	① 経費を節減する	32	37	38	39	25	35	36	32
	② 宣伝・広告を強化する	23	20	25	22	18	17	27	24
	③ 品揃えを改善する	22	26	13	28	21	27	36	32
	④ 売れ筋商品を取り扱う	18	14	13	14	11	16	36	16
	⑤ 商店街事業を活性化させる	14	12	25	14	14	13	9	19
借入の難易度		-11	-6	0	-4	-15	-5	-22	-11

## 【来期見通しの比較】

業 況		-39	-49	-20	-55	-43	-44	-50	-54
売上額		-34	-43	-5	-48	-39	-37	-14	-48
収 益		-29	-42	-6	-43	-35	-38	-11	-47
販売価格		-15	-9	-15	-14	-12	-3	-8	-15
仕入価格		-10	0	-15	-2	-9	3	-6	-3
在 庫		-7	-2	-14	-6	-12	-2	-7	8
資金繰り		-25	-30	-14	-28	-30	-26	-17	-42
雇用	残業時間	-16	-14	-14	-17	-15	-11	-9	-15
	人 手	-4	-4	-14	-8	-12	-4	0	-1

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

## サービス業

### 【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-54	-51
売上額		-55	-56
収益		-57	-54
料金価格		-19	-8
材料価格		-2	1
資金繰り		-40	-34
雇用	残業時間	-36	-29
	人手	-4	-7
同期比	売上額	-62	-62
	収益	-62	-60
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	62	41
	② 同業者間の競争の激化	33	25
	③ 取引先の減少	12	6
	④ 利幅の縮小	12	8
	⑤ 人手不足	12	11
重点経営施策	① 経費を節減する	43	33
	② 販路を広げる	38	28
	③ 宣伝・広告を強化する	31	16
	④ 人材を確保する	10	12
	⑤ 提携先を見つける	7	5
借入の難易度		-5	-1

## 建設業

### 【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-35	-33
売上額		-40	-37
受注残		-39	-33
施工高		-38	-30
収益		-44	-35
請負価格		-10	-9
材料価格		17	12
在庫		-8	-6
資金繰り		-15	-22
雇用	残業時間	-27	-22
	人手	-23	-18
同期比	売上額	-36	-43
	収益	-36	-43
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	49	34
	② 同業者間の競争の激化	28	21
	③ 人手不足	25	20
	④ 利幅の縮小	19	12
	⑤ 人件費の増加	13	7
重点経営施策	① 経費を節減する	47	36
	② 販路を広げる	38	32
	③ 技術力を高める	26	16
	④ 情報力を強化する	25	15
	⑤ 人材を確保する	23	22
借入の難易度		9	8

### 【来期見通しの比較】

業況		-49	-47
売上額		-55	-46
収益		-56	-44
料金価格		-18	-8
材料価格		1	0
資金繰り		-41	-33
雇用	残業時間	-30	-23
	人手	-5	-7

### 【来期見通しの比較】

業況		-34	-36
売上額		-38	-31
受注残		-36	-29
施工高		-34	-25
収益		-35	-29
請負価格		-14	-10
材料価格		14	10
在庫		-9	-5
資金繰り		-19	-21
雇用	残業時間	-21	-17
	人手	-30	-20

\* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。

【サービス業】:業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

【建設業】:業況、売上額、受注残、施工高、収益、請負価格、材料価格、在庫、資金繰り

\* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

\* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

# 江戸川区の業種別転記表

(2020年4月～6月期)

## 製造業

## 転記表 No.1

2020年4月～6月期

注: 各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2018年		2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 7～9月 期
		7月～9月期	8月～10月期	10月～12月期	11月～1月期	2月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期				
業 況	良 い	12.2	8.4	15.3	11.0	16.0	13.1	15.9	13.1	14.2	13.7	11.2	10.8	7.7	7.9	3.0	7.9		3.1
	普 通	63.9	71.4	61.5	71.0	60.5	67.7	62.0	68.8	63.5	63.1	66.4	66.5	63.4	66.2	50.7	60.5		46.6
	悪 い	23.9	20.2	23.2	18.0	23.5	19.2	22.1	18.1	22.3	23.2	22.4	22.7	28.9	25.9	46.3	31.6		50.3
	D・I	-11.7	-11.8	-7.9	-7.0	-7.5	-6.1	-6.2	-5.0	-8.1	-9.5	-11.2	-11.9	-21.2	-18.0	-43.3	-23.7		-47.2
	<b>修正値</b>	<b>-11.6</b>	<b>-12.8</b>	<b>-9.6</b>	<b>-8.7</b>	<b>-7.9</b>	<b>-6.5</b>	<b>-6.2</b>	<b>-5.5</b>	<b>-7.7</b>	<b>-9.2</b>	<b>-12.3</b>	<b>-12.1</b>	<b>-19.2</b>	<b>-17.6</b>	<b>-40.2</b>	<b>-22.1</b>	<b>-21.0</b>	<b>-43.8</b>
	傾 向 値	-9.1		-9.2		-9.5		-9.0		-7.9		-7.8		-10.0		-16.3			
売 上 額	増 加	10.2	8.7	14.8	8.3	18.6	11.4	17.4	12.1	11.7	12.4	13.8	9.2	8.2	7.7	4.9	5.7		6.1
	変 ら ず	66.9	74.4	61.1	74.6	61.8	72.3	60.0	74.3	66.0	68.4	68.3	74.0	65.1	73.3	45.1	69.0		45.7
	減 少	22.9	16.9	24.1	17.1	19.6	16.3	22.6	13.6	22.3	19.2	17.9	16.8	26.7	19.0	50.0	25.3		48.2
	D・I	-12.7	-8.2	-9.3	-8.8	-1.0	-4.9	-5.2	-1.5	-10.6	-6.8	-4.1	-7.6	-18.5	-11.3	-45.1	-19.6		-42.1
	<b>修正値</b>	<b>-10.9</b>	<b>-9.6</b>	<b>-9.5</b>	<b>-10.0</b>	<b>-2.4</b>	<b>-3.7</b>	<b>-5.9</b>	<b>-2.7</b>	<b>-8.2</b>	<b>-7.3</b>	<b>-5.2</b>	<b>-7.6</b>	<b>-17.6</b>	<b>-10.2</b>	<b>-42.0</b>	<b>-18.8</b>	<b>-24.4</b>	<b>-39.1</b>
	傾 向 値	-6.1		-7.5		-8.1		-7.4		-6.8		-5.9		-7.4		-14.6			
受 注 残	増 加	9.3	7.7	15.8	7.3	17.1	10.4	13.3	11.6	9.7	10.4	10.7	7.2	8.2	4.1	3.7	7.3		5.6
	変 ら ず	67.8	75.9	65.0	75.1	63.8	73.3	67.2	72.8	70.4	72.5	72.5	77.4	65.5	78.0	47.0	68.3		49.3
	減 少	22.9	16.4	19.2	17.6	19.1	16.3	19.5	15.6	19.9	17.1	16.8	15.4	26.3	17.9	49.3	24.4		45.1
	D・I	-13.6	-8.7	-3.4	-10.3	-2.0	-5.9	-6.2	-4.0	-10.2	-6.7	-6.1	-8.2	-18.1	-13.8	-45.6	-17.1		-39.5
	<b>修正値</b>	<b>-12.0</b>	<b>-8.8</b>	<b>-6.2</b>	<b>-11.2</b>	<b>-2.6</b>	<b>-6.9</b>	<b>-4.8</b>	<b>-4.2</b>	<b>-7.4</b>	<b>-6.1</b>	<b>-8.6</b>	<b>-7.9</b>	<b>-16.4</b>	<b>-13.4</b>	<b>-42.1</b>	<b>-15.8</b>	<b>-25.7</b>	<b>-36.5</b>
	傾 向 値	-4.3		-5.7		-6.2		-6.2		-5.9		-5.8		-8.1		-15.1			
収 益	増 加	6.8	6.8	12.3	6.3	13.6	9.9	14.9	10.1	12.2	9.3	12.8	9.7	7.7	6.7	4.9	7.2		6.1
	変 ら ず	68.3	74.4	64.5	75.2	68.3	73.8	65.1	75.3	65.5	71.5	65.8	72.4	64.6	72.3	46.3	66.5		45.4
	減 少	24.9	18.8	23.2	18.5	18.1	16.3	20.0	14.6	22.3	19.2	21.4	17.9	27.7	21.0	48.8	26.3		48.5
	D・I	-18.1	-12.0	-10.9	-12.2	-4.5	-6.4	-5.1	-4.5	-10.1	-9.9	-8.6	-8.2	-20.0	-14.3	-43.9	-19.1		-42.4
	<b>修正値</b>	<b>-16.8</b>	<b>-12.8</b>	<b>-12.6</b>	<b>-13.0</b>	<b>-4.4</b>	<b>-7.3</b>	<b>-5.8</b>	<b>-4.8</b>	<b>-8.5</b>	<b>-9.5</b>	<b>-10.3</b>	<b>-8.7</b>	<b>-17.9</b>	<b>-14.7</b>	<b>-41.0</b>	<b>-18.0</b>	<b>-23.1</b>	<b>-38.7</b>
	傾 向 値	-8.9		-10.9		-11.6		-10.5		-8.7		-7.4		-9.0		-15.8			
価 格 動 向	販 売 価 格	-1.0	-2.4	-1.0	-2.0	-1.0	-2.0	-1.0	-0.5	-1.0	-1.1	3.6	0.0	0.0	-1.1	-12.8	-3.6		-15.3
	〃 修正値	<b>-1.0</b>	<b>-3.0</b>	<b>-1.2</b>	<b>-1.3</b>	<b>-0.2</b>	<b>-1.9</b>	<b>-1.3</b>	<b>-1.0</b>	<b>-1.2</b>	<b>-1.7</b>	<b>2.3</b>	<b>0.0</b>	<b>0.5</b>	<b>-1.5</b>	<b>-11.3</b>	<b>-3.4</b>	<b>-11.8</b>	<b>-14.3</b>
	〃 傾向値	-1.5		-1.5		-1.4		-1.2		-1.0		-0.4		0.3		-1.1			
	原 材 料 価 格	21.9	14.5	18.8	14.6	16.0	13.3	20.5	13.0	15.3	12.9	16.4	15.3	15.9	10.9	1.8	12.4		-0.6
	〃 修正値	<b>23.4</b>	<b>15.2</b>	<b>18.7</b>	<b>16.1</b>	<b>17.5</b>	<b>13.0</b>	<b>19.7</b>	<b>13.9</b>	<b>16.8</b>	<b>13.5</b>	<b>16.8</b>	<b>16.3</b>	<b>17.5</b>	<b>11.0</b>	<b>2.1</b>	<b>13.5</b>	<b>-15.4</b>	<b>0.9</b>
	〃 傾向値	18.6		19.7		19.3		19.0		18.5		17.4		17.0		14.7			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原材料在庫数量	-3.9	-0.5	-3.4	-3.4	-0.5	-2.0	3.1	0.0	0.0	3.1	0.0	1.0	-0.6	-1.5	-0.6	-1.5		-3.7
	〃 修正値	<b>-3.5</b>	<b>-1.7</b>	<b>-2.2</b>	<b>-2.6</b>	<b>0.1</b>	<b>-1.2</b>	<b>1.9</b>	<b>0.5</b>	<b>0.4</b>	<b>1.7</b>	<b>1.1</b>	<b>1.4</b>	<b>-0.4</b>	<b>-0.5</b>	<b>-1.8</b>	<b>-0.9</b>	<b>-1.4</b>	<b>-4.7</b>
	資金繰り	-6.4	-2.5	-7.9	-4.0	-10.0	-6.4	-2.6	-7.0	-5.1	-4.6	-8.7	-5.1	-9.8	-10.4	-31.9	-12.9		-32.5
	〃 修正値	<b>-7.8</b>	<b>-5.6</b>	<b>-7.7</b>	<b>-6.0</b>	<b>-8.6</b>	<b>-6.2</b>	<b>-5.7</b>	<b>-6.2</b>	<b>-6.6</b>	<b>-7.0</b>	<b>-7.9</b>	<b>-6.6</b>	<b>-8.2</b>	<b>-9.9</b>	<b>-31.1</b>	<b>-11.4</b>	<b>-22.9</b>	<b>-31.4</b>
前 年 同 期 比	売 上 額	-8.3		-6.0		-1.5		-6.6		-7.1		-7.6		-14.4		-49.4			
	収 益	-15.2		-10.3		-5.5		-8.2		-6.6		-11.2		-19.5		-47.0			
雇 用	残 業 時 間	-2.9	-2.5	0.5	0.0	0.5	1.0	-0.5	0.5	-4.6	-1.5	-5.1	-2.6	-4.6	-6.2	-25.6	-4.7		-20.8
	人 手	-9.3	-12.6	-11.3	-11.7	-12.6	-11.4	-10.2	-13.7	-13.2	-11.4	-15.3	-14.5	-16.5	-15.2	0.0	-15.7		-5.4
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	21.2	12.6	23.2	12.4	19.6	14.0	18.0	17.3	20.9	15.6	22.4	16.0	24.4	17.3	30.7	13.5		20.6
	借入しない/借入の予定なし(%)	78.8	87.4	76.8	87.6	80.4	86.0	82.0	82.7	79.1	84.4	77.6	84.0	75.6	82.7	69.3	86.5		79.4
	借入難易度	1.7		-2.3		2.9		-1.2		-1.8		0.0		-3.1		-3.5			
有効回答事業所数		205		203		200		196		197		196		195		164			

# 製造業

## 転記表 No.2

2020年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2018年		2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 7～9月 期
		7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	-6.4	-2.4	-7.9	-3.9	-5.6	-5.5	-6.3	-6.7	-5.1	-4.7	-4.1	-4.8	-6.2	-5.8	-4.2	-4.7		-4.9
	実施した・予定あり	17.0	12.8	16.0	15.8	15.9	15.2	15.9	18.4	15.0	18.4	18.5	16.2	16.8	15.3	9.4	14.1		11.2
	事業用土地・建物	11.8	20.0	15.6	9.7	9.7	10.0	16.7	5.7	17.2	17.6	13.9	12.9	21.9	13.8	20.0	23.1		23.5
	機械・設備の新・増設	41.2	32.0	59.4	41.9	32.3	40.0	26.7	34.3	34.5	35.3	38.9	32.3	31.3	34.5	26.7	30.8		23.5
	機械・設備の更改	41.2	36.0	37.5	45.2	29.0	50.0	33.3	28.6	44.8	29.4	44.4	32.3	43.8	48.3	33.3	26.9		47.1
	事務機器	17.6	32.0	12.5	9.7	25.8	13.3	20.0	17.1	17.2	17.6	27.8	12.9	21.9	20.7	13.3	23.1		11.8
	車両	23.5	28.0	9.4	22.6	35.5	16.7	23.3	31.4	24.1	23.5	11.1	29.0	25.0	20.7	46.7	23.1		29.4
	その他	-	4.0	-	-	3.2	-	6.7	5.7	3.4	2.9	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	83.0	87.2	84.0	84.2	84.1	84.8	84.1	81.6	85.0	81.6	81.5	83.8	83.2	84.7	90.6	85.9		88.8
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	35.6		30.0		29.5		33.7		33.5		36.2		37.4		49.4			
	人手不足	16.1		13.3		16.0		11.7		18.3		15.3		17.9		8.5			
	大手企業との競争の激化	7.8		8.9		10.0		11.2		8.6		7.7		9.2		8.5			
	同業者間の競争の激化	22.9		20.2		25.0		19.4		20.3		20.4		20.0		17.1			
	親企業による選別の強化	2.4		3.0		2.5		2.0		1.5		3.1		2.6		1.2			
	輸入製品との競争の激化	5.4		6.4		5.0		5.6		3.6		4.1		3.6		3.7			
	合理化の不足	2.9		3.9		3.5		4.6		5.6		3.1		3.1		3.0			
	利幅の縮小	19.5		17.7		15.0		17.3		16.2		14.8		17.4		13.4			
	原材高	16.1		16.3		16.0		19.4		13.2		15.8		12.3		11.6			
	販売納入先からの値下げ要請	8.3		7.9		6.0		5.1		4.6		5.1		5.6		8.5			
	仕入先からの値上げ要請	4.9		5.4		4.0		3.6		5.6		3.6		2.1		0.6			
	人件費の増加	6.3		3.4		5.0		7.7		7.1		7.1		7.2		3.7			
	人件費以外の経費増加	2.4		2.5		3.5		2.6		4.6		3.1		2.1		2.4			
	工場・機械の狭小・老朽化	10.7		6.9		8.5		7.7		9.6		9.7		8.2		8.5			
	生産能力の不足	5.9		5.9		3.0		3.1		3.6		2.0		1.5		1.8			
	下請の確保難	2.9		2.0		3.5		4.1		3.6		3.6		3.6		5.5			
	代金回収の悪化	1.0		1.0		1.0		0.5		0.5		-		1.0		0.6			
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-			
	天候の不順	1.0		0.5		1.0		-		0.5		1.0		2.1		1.2			
	地場産業の衰退	3.9		2.0		3.0		2.6		2.5		2.0		2.1		1.2			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.0		1.0		0.5		1.0		2.0		1.0		0.5		1.8			
	為替レートの変動	-		0.5		0.5		-		0.5		-		0.5		-			
	その他	1.0		0.5		1.5		-		0.5		1.5		2.1		7.3			
問題なし	9.8		13.8		12.0		11.7		10.7		13.3		11.3		12.2				
重点経営施策(%)	販路を広げる	51.7		51.7		50.0		52.0		49.2		48.5		48.2		53.0			
	経費を節減する	43.4		39.4		39.0		38.3		41.6		40.8		42.1		39.6			
	情報力を強化する	12.7		12.3		13.0		15.8		18.3		14.8		12.8		12.2			
	新製品・技術を開発する	10.7		11.3		8.5		11.2		11.2		8.2		8.7		9.1			
	不採算部門を整理・縮小する	2.9		3.4		4.5		2.6		4.1		3.1		2.1		3.7			
	提携先を見つける	9.3		7.9		8.0		7.1		6.6		6.6		7.2		7.3			
	機械化を推進する	6.3		5.9		7.5		6.6		6.1		6.1		7.7		4.9			
	人材を確保する	15.1		10.3		12.5		11.7		15.7		17.9		17.4		8.5			
	パート化を図る	1.5		1.5		2.5		1.5		2.0		2.0		1.5		1.2			
	教育訓練を強化する	2.4		2.5		4.5		5.1		4.1		4.1		6.2		3.0			
	労働条件を改善する	3.4		2.0		3.0		1.5		1.5		2.6		1.5		3.0			
	工場・機械を増設・移転する	3.4		4.9		5.5		3.6		4.6		4.1		4.1		4.9			
	不動産の有効活用を図る	1.5		1.0		-		-		-		-		1.0		-			
	その他	-		0.5		0.5		0.5		-		0.5		0.5		1.8			
	特になし	15.1		16.7		15.0		16.8		14.2		13.3		13.3		18.3			
有効回答事業所数	205		203		200		196		197		196		195		164				

# 小売業

## 転記表 No.1

2020年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2018年		2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 7～9月 期
		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期			
業 況	良 い	9.3	9.3	7.4	7.4	4.2	5.3	6.7	3.2	4.3	4.4	3.4	3.2	5.8	4.6	8.5	3.7		1.4
	普 通	58.7	62.9	61.0	64.9	61.1	64.9	61.1	62.1	64.8	64.5	59.8	64.5	59.3	57.5	46.4	56.8		60.0
	悪 い	32.0	27.8	31.6	27.7	34.7	29.8	32.2	34.7	30.9	31.1	36.8	32.3	34.9	37.9	45.1	39.5		38.6
	D・I	-22.7	-18.5	-24.2	-20.3	-30.5	-24.5	-25.5	-31.5	-26.6	-26.7	-33.4	-29.1	-29.1	-33.3	-36.6	-35.8		-37.2
	<b>修正値</b>	<b>-23.3</b>	<b>-23.2</b>	<b>-23.2</b>	<b>-22.8</b>	<b>-29.9</b>	<b>-24.5</b>	<b>-30.1</b>	<b>-30.0</b>	<b>-27.2</b>	<b>-30.3</b>	<b>-31.7</b>	<b>-30.6</b>	<b>-28.7</b>	<b>-32.6</b>	<b>-37.8</b>	<b>-33.3</b>	<b>-9.1</b>	<b>-38.6</b>
	傾 向 値	-23.1		-23.0		-23.4		-24.9		-26.2		-27.9		-28.8		-30.0			
売 上 額	増 加	11.3	1.0	8.4	7.2	6.3	5.3	11.1	4.2	7.4	5.6	6.9	6.4	9.3	5.8	4.2	7.1		4.2
	変 ら ず	68.1	78.6	70.5	76.3	71.8	77.7	70.0	77.0	69.2	74.4	64.4	71.3	65.1	74.4	46.5	65.5		56.4
	減 少	20.6	20.4	21.1	16.5	21.9	17.0	18.9	18.8	23.4	20.0	28.7	22.3	25.6	19.8	49.3	27.4		39.4
	D・I	-9.3	-19.4	-12.7	-9.3	-15.6	-11.7	-7.8	-14.6	-16.0	-14.4	-21.8	-15.9	-16.3	-14.0	-45.1	-20.3		-35.2
	<b>修正値</b>	<b>-10.1</b>	<b>-22.6</b>	<b>-15.2</b>	<b>-13.1</b>	<b>-14.7</b>	<b>-12.7</b>	<b>-12.2</b>	<b>-14.0</b>	<b>-16.3</b>	<b>-17.3</b>	<b>-22.4</b>	<b>-18.0</b>	<b>-15.9</b>	<b>-14.5</b>	<b>-43.6</b>	<b>-18.4</b>	<b>-27.7</b>	<b>-33.6</b>
	傾 向 値	-15.2		-15.0		-15.0		-13.0		-12.2		-14.2		-15.4		-20.1			
収 益	増 加	12.4	3.1	8.4	9.3	5.2	7.4	10.0	3.1	6.4	4.4	6.9	4.3	9.4	5.8	5.6	6.0		4.2
	変 ら ず	66.0	75.5	70.5	74.2	76.0	74.5	70.0	79.2	69.1	72.3	70.1	73.4	60.0	81.4	50.7	63.9		60.6
	減 少	21.6	21.4	21.1	16.5	18.8	18.1	20.0	17.7	24.5	23.3	23.0	22.3	30.6	12.8	43.7	30.1		35.2
	D・I	-9.2	-18.3	-12.7	-7.2	-13.6	-10.7	-10.0	-14.6	-18.1	-18.9	-16.1	-18.0	-21.2	-7.0	-38.1	-24.1		-31.0
	<b>修正値</b>	<b>-10.9</b>	<b>-21.4</b>	<b>-15.9</b>	<b>-12.3</b>	<b>-12.3</b>	<b>-12.9</b>	<b>-13.2</b>	<b>-13.3</b>	<b>-18.8</b>	<b>-20.0</b>	<b>-18.5</b>	<b>-20.6</b>	<b>-19.4</b>	<b>-10.3</b>	<b>-36.4</b>	<b>-21.2</b>	<b>-17.0</b>	<b>-28.9</b>
	傾 向 値	-17.5		-16.7		-15.7		-13.0		-12.5		-14.0		-15.4		-19.9			
価 格 動 向	販 売 価 格	4.1	8.1	5.2	2.1	9.3	2.1	2.2	4.2	2.2	3.3	12.7	6.4	-1.2	10.5	-16.9	1.2		-16.9
	〃 修正値	<b>4.9</b>	<b>5.3</b>	<b>3.8</b>	<b>3.1</b>	<b>9.1</b>	<b>3.1</b>	<b>1.0</b>	<b>2.8</b>	<b>3.5</b>	<b>1.0</b>	<b>9.3</b>	<b>6.8</b>	<b>-0.1</b>	<b>10.3</b>	<b>-14.5</b>	<b>2.2</b>	<b>-14.4</b>	<b>-15.4</b>
	〃 傾向値	5.1		5.2		6.0		6.1		5.0		5.7		5.3		1.6			
	仕 入 価 格	8.2	11.2	10.5	3.1	9.4	7.4	12.3	10.4	9.6	11.1	18.4	14.9	9.3	16.2	-12.7	10.7		-11.5
	〃 修正値	<b>9.7</b>	<b>9.3</b>	<b>10.0</b>	<b>5.7</b>	<b>9.3</b>	<b>7.4</b>	<b>11.4</b>	<b>9.7</b>	<b>11.3</b>	<b>9.0</b>	<b>16.1</b>	<b>16.6</b>	<b>10.1</b>	<b>15.2</b>	<b>-10.1</b>	<b>11.1</b>	<b>-20.2</b>	<b>-9.6</b>
	〃 傾向値	9.9		9.8		10.0		10.1		10.3		11.4		12.4		9.3			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-6.1	-3.0	-1.1	-7.2	-2.1	1.1	6.7	-1.1	5.3	6.8	3.5	4.3	1.1	2.3	-5.7	1.2		-7.1
	〃 修正値	<b>-3.1</b>	<b>-3.5</b>	<b>-2.5</b>	<b>-5.4</b>	<b>-1.9</b>	<b>-0.6</b>	<b>3.8</b>	<b>-0.4</b>	<b>6.6</b>	<b>4.7</b>	<b>2.0</b>	<b>5.5</b>	<b>2.1</b>	<b>0.9</b>	<b>-6.4</b>	<b>1.9</b>	<b>-8.5</b>	<b>-7.2</b>
	資 金 繰 り	-14.4	-16.3	-12.6	-12.4	-13.6	-14.8	-7.7	-14.6	-14.9	-10.1	-12.6	-12.8	-11.6	-13.9	-29.6	-14.3		-25.4
〃 修正値	<b>-14.8</b>	<b>-18.0</b>	<b>-13.8</b>	<b>-14.2</b>	<b>-14.1</b>	<b>-15.5</b>	<b>-9.8</b>	<b>-14.4</b>	<b>-15.2</b>	<b>-11.1</b>	<b>-14.3</b>	<b>-14.5</b>	<b>-12.1</b>	<b>-15.1</b>	<b>-28.9</b>	<b>-14.2</b>	<b>-16.8</b>	<b>-24.6</b>	
前 年 同 期 比	売 上 額	-13.4		-16.9		-16.6		-7.8		-17.0		-17.3		-18.6		-45.1			
	収 益	-16.5		-13.7		-14.6		-12.2		-17.0		-18.4		-20.9		-40.9			
	販 売 価 格	7.2		6.3		9.4		4.5		5.3		9.2		4.7		-12.8			
雇 用	残 業 時 間	-2.1	-5.1	-4.3	-2.1	-4.3	-3.2	-2.3	-6.4	-8.5	-6.9	-8.1	-6.4	-4.7	-6.0	-18.5	-5.9		-15.7
	人 手	-6.3	-5.1	-7.4	-7.3	-9.4	-7.6	-4.5	-12.6	-7.4	-4.5	-7.0	-9.7	-8.2	-8.3	-7.2	-8.3		-4.4
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	11.5	10.3	16.0	7.4	10.4	7.5	14.4	8.3	18.1	9.1	20.7	4.3	17.4	7.1	21.7	9.4		13.0
	借入しない/借入の予定なし(%)	88.5	89.7	84.0	92.6	89.6	92.5	85.6	91.7	81.9	90.9	79.3	95.7	82.6	92.9	78.3	90.6		87.0
	借 入 難 易 度	<b>-12.1</b>		<b>-7.3</b>		<b>-9.1</b>		<b>-5.8</b>		<b>0.0</b>		<b>-2.9</b>		<b>-15.6</b>		<b>-10.9</b>			
有効回答事業所数	97		96		96		93		94		87		86		74				

# 小売業

## 転記表 No.2

2020年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	2018年		2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 7～9月 期
		7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期		
設備投資動向(%)	現在の設備	-8.3	-6.3	-7.4	-8.4	-2.1	-7.5	-5.6	-3.1	-5.3	-5.8	-3.5	-6.4	-1.1	-6.0	-4.3	-2.3		-5.8
	実施した・予定あり	3.2	7.3	3.2	5.4	5.3	4.4	8.0	5.4	8.6	2.4	5.8	2.3	4.8	3.6	6.2	6.1		3.1
	事業用土地・建物	33.3	28.6	-	20.0	20.0	25.0	-	40.0	25.0	-	-	-	25.0	-	25.0	20.0		-
	事務機器	33.3	14.3	66.7	20.0	20.0	25.0	71.4	40.0	37.5	100.0	60.0	50.0	25.0	33.3	25.0	20.0		50.0
	車両	-	28.6	-	40.0	40.0	25.0	14.3	20.0	12.5	-	-	-	25.0	33.3	25.0	40.0		50.0
	その他	66.7	42.9	66.7	40.0	20.0	50.0	28.6	-	37.5	-	60.0	50.0	25.0	33.3	25.0	20.0		50.0
	実施しない・予定なし	96.8	92.7	96.8	94.6	94.7	95.6	92.0	94.6	91.4	97.6	94.2	97.7	95.2	96.4	93.8	93.9		96.9
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	43.3		37.5		40.6		40.9		38.3		41.4		38.4		45.9			
	人手不足	7.2		6.3		12.5		8.6		8.5		10.3		8.1		4.1			
	同業者間の競争の激化	26.8		21.9		29.2		26.9		29.8		29.9		24.4		17.6			
	大型店との競争の激化	30.9		32.3		26.0		26.9		30.9		28.7		31.4		31.1			
	輸入製品との競争の激化	2.1		1.0		1.0		1.1		2.1		-		-		1.4			
	利幅の縮小	9.3		12.5		13.5		10.8		7.4		8.0		3.5		6.8			
	取扱商品の陳腐化	4.1		2.1		3.1		3.2		2.1		3.4		2.3		1.4			
	販売商品の不足	4.1		3.1		1.0		4.3		2.1		2.3		2.3		4.1			
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		-		1.1		1.1		-		-		-			
	仕入先からの値上げ要請	6.2		8.3		6.3		10.8		11.7		10.3		9.3		2.7			
	人件費の増加	2.1		2.1		4.2		2.2		2.1		3.4		1.2		1.4			
	人件費以外の経費の増加	1.0		2.1		2.1		1.1		3.2		2.3		4.7		4.1			
	取引先の減少	6.2		8.3		6.3		3.2		7.4		8.0		4.7		5.4			
	商圏人口の減少	11.3		5.2		4.2		7.5		5.3		6.9		2.3		-			
	商店街の集客力の低下	10.3		13.5		14.6		14.0		13.8		13.8		14.0		12.2			
	店舗の狭小・老朽化	6.2		3.1		4.2		3.2		3.2		3.4		5.8		2.7			
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-			
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-			
	駐車場の確保難	1.0		-		1.0		-		-		-		-		-			
	天候の不順	1.0		4.2		-		-		3.2		5.7		8.1		-			
地場産業の衰退	2.1		2.1		-		-		2.1		-		1.2		-				
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		1.0		-		-		-		1.2		-				
その他	2.1		-		-		2.2		2.1		4.6		3.5		4.1				
問題なし	8.2		15.6		12.5		10.8		11.7		10.3		14.0		13.5				
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	32.0		27.1		27.1		29.0		37.2		25.3		29.1		21.6			
	経費を節減する	30.9		28.1		35.4		32.3		33.0		39.1		39.5		32.4			
	宣伝・広報を強化する	24.7		20.8		21.9		26.9		23.4		27.6		17.4		23.0			
	新しい事業を始める	-		2.1		1.0		1.1		1.1		1.1		1.2		1.4			
	店舗・設備を改装する	3.1		2.1		4.2		2.2		6.4		5.7		5.8		-			
	仕入先を開拓・選別する	7.2		10.4		11.5		6.5		5.3		4.6		3.5		4.1			
	営業時間を延長する	3.1		3.1		4.2		4.3		3.2		3.4		3.5		2.7			
	売れ筋商品を取り扱う	19.6		19.8		13.5		21.5		16.0		20.7		20.9		17.6			
	商店街事業を活性化させる	17.5		15.6		15.6		12.9		12.8		12.6		5.8		13.5			
	機械化を推進する	-		1.0		2.1		1.1		2.1		1.1		1.2		-			
	人材を確保する	3.1		4.2		5.2		5.4		1.1		5.7		3.5		4.1			
	パート化を図る	1.0		1.0		-		1.1		1.1		3.4		2.3		1.4			
	教育訓練を強化する	4.1		2.1		1.0		1.1		1.1		1.1		1.2		1.4			
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-			
	不動産の有効活用を図る	3.1		3.1		3.1		2.2		2.1		3.4		7.0		2.7			
	その他	-		-		1.0		2.2		2.1		2.3		3.5		-			
特になし	18.6		22.9		17.7		12.9		17.0		14.9		19.8		23.0				
有効回答事業所数	97		96		96		93		94		87		86		74				

# サービス業

## 転記表 No.1

2020年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2018年		2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 7～9月 期
		7月～9月期	8月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期					
業 況	良 い	13.3	8.5	9.6	12.0	12.3	6.8	13.9	9.7	12.9	9.7	10.0	8.6	7.1	8.7	1.7	7.1		1.8
	普 通	61.4	70.4	63.0	66.7	65.8	67.2	72.2	70.9	74.2	73.6	75.7	74.3	74.3	73.9	41.4	67.2		44.6
	悪 い	25.3	21.1	27.4	21.3	21.9	26.0	13.9	19.4	12.9	16.7	14.3	17.1	18.6	17.4	56.9	25.7		53.6
	D・I	-12.0	-12.6	-17.8	-9.3	-9.6	-19.2	0.0	-9.7	0.0	-7.0	-4.3	-8.5	-11.5	-8.7	-55.2	-18.6		-51.8
	<b>修正値</b>	<b>-15.1</b>	<b>-12.5</b>	<b>-16.9</b>	<b>-11.4</b>	<b>-10.5</b>	<b>-19.5</b>	<b>-5.6</b>	<b>-11.3</b>	<b>-3.2</b>	<b>-7.8</b>	<b>-2.2</b>	<b>-10.7</b>	<b>-11.1</b>	<b>-9.2</b>	<b>-53.7</b>	<b>-19.6</b>	<b>-42.6</b>	<b>-48.8</b>
	傾 向 値	-15.5		-14.7		-13.8		-11.4		-8.4		-5.2		-3.7		-10.9			
売 上 額	増 加	16.0	12.7	11.0	13.3	13.7	8.2	8.3	5.5	11.4	5.6	10.0	10.0	8.6	7.1	3.4	7.1		3.5
	変 ら ず	62.7	67.6	58.9	70.7	61.6	69.9	76.4	72.6	72.9	73.6	72.9	71.4	70.0	71.5	37.9	65.8		35.1
	減 少	21.3	19.7	30.1	16.0	24.7	21.9	15.3	21.9	15.7	20.8	17.1	18.6	21.4	21.4	58.7	27.1		61.4
	D・I	-5.3	-7.0	-19.1	-2.7	-11.0	-13.7	-7.0	-16.4	-4.3	-15.2	-7.1	-8.6	-12.8	-14.3	-55.3	-20.0		-57.9
	<b>修正値</b>	<b>-5.8</b>	<b>-8.5</b>	<b>-17.9</b>	<b>-3.0</b>	<b>-11.0</b>	<b>-14.8</b>	<b>-12.9</b>	<b>-15.8</b>	<b>-5.7</b>	<b>-15.5</b>	<b>-4.1</b>	<b>-9.6</b>	<b>-11.2</b>	<b>-15.7</b>	<b>-54.5</b>	<b>-19.3</b>	<b>-43.3</b>	<b>-55.2</b>
	傾 向 値	-11.5		-10.5		-10.2		-10.2		-10.5		-8.9		-7.6		-13.8			
収 益	増 加	13.3	8.5	11.0	9.3	8.2	8.2	11.1	6.8	7.1	5.6	7.1	5.7	7.1	2.9	3.4	7.2		3.4
	変 ら ず	60.0	67.6	58.9	68.0	67.1	67.1	73.6	72.7	75.8	75.0	80.0	70.0	68.6	80.0	36.2	66.7		34.5
	減 少	26.7	23.9	30.1	22.7	24.7	24.7	15.3	20.5	17.1	19.4	12.9	24.3	24.3	17.1	60.4	26.1		62.1
	D・I	-13.4	-15.4	-19.1	-13.4	-16.5	-16.5	-4.2	-13.7	-10.0	-13.8	-5.8	-18.6	-17.2	-14.2	-57.0	-18.9		-58.7
	<b>修正値</b>	<b>-14.8</b>	<b>-17.5</b>	<b>-16.2</b>	<b>-14.5</b>	<b>-16.2</b>	<b>-15.9</b>	<b>-11.6</b>	<b>-12.4</b>	<b>-11.6</b>	<b>-15.1</b>	<b>-2.5</b>	<b>-18.9</b>	<b>-14.5</b>	<b>-15.3</b>	<b>-56.5</b>	<b>-18.2</b>	<b>-42.0</b>	<b>-56.3</b>
	傾 向 値	-17.1		-16.1		-15.8		-14.7		-12.9		-10.8		-9.2		-15.9			
価 格 動 向	料 金 価 格	-4.0	-1.4	0.0	-1.3	-1.3	-5.4	1.3	-1.4	4.3	-2.8	8.6	0.0	2.8	1.5	-20.7	-1.5		-20.7
	〃 修正値	<b>-4.6</b>	<b>-2.1</b>	<b>1.5</b>	<b>-1.2</b>	<b>-1.2</b>	<b>-4.7</b>	<b>-1.3</b>	<b>-2.9</b>	<b>2.7</b>	<b>-3.0</b>	<b>8.1</b>	<b>-1.3</b>	<b>3.0</b>	<b>0.3</b>	<b>-19.2</b>	<b>-2.7</b>	<b>-22.2</b>	<b>-18.2</b>
	〃 傾向値	0.6		0.2		0.1		-0.6		0.0		2.2		3.7		1.5			
	材 料 価 格	16.0	16.9	13.7	14.7	13.7	13.7	18.0	9.6	18.5	16.7	23.2	15.7	20.0	14.5	-3.5	21.8		1.7
	〃 修正値	<b>15.8</b>	<b>14.5</b>	<b>15.9</b>	<b>14.5</b>	<b>14.7</b>	<b>15.0</b>	<b>17.2</b>	<b>12.3</b>	<b>16.4</b>	<b>14.2</b>	<b>23.4</b>	<b>13.9</b>	<b>20.2</b>	<b>14.8</b>	<b>-1.6</b>	<b>22.4</b>	<b>-21.8</b>	<b>1.0</b>
	〃 傾向値	18.1		18.0		16.7		15.7		15.7		17.2		19.1		17.2			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資 金 繰 り	-8.1	-11.3	-10.9	-12.0	-19.2	-8.2	-15.5	-19.2	-12.8	-14.1	-7.1	-14.3	-20.0	-12.9	-43.1	-21.8		-43.1
	〃 修正値	<b>-11.8</b>	<b>-12.4</b>	<b>-11.0</b>	<b>-12.8</b>	<b>-17.6</b>	<b>-8.7</b>	<b>-15.8</b>	<b>-18.7</b>	<b>-15.4</b>	<b>-15.0</b>	<b>-8.7</b>	<b>-13.7</b>	<b>-17.8</b>	<b>-14.7</b>	<b>-39.7</b>	<b>-20.0</b>	<b>-21.9</b>	<b>-40.8</b>
前 年 同 期 比	売 上 額	-8.0		-11.0		-13.7		-9.7		-2.9		-11.4		-14.3		-62.1			
	収 益	-13.3		-16.5		-22.0		-5.6		-7.1		-2.9		-18.9		-62.1			
雇 用	残 業 時 間	-4.0	-10.0	-6.9	-5.3	-10.9	-7.1	-5.5	-9.9	-8.6	-5.7	-4.3	-4.3	-11.4	-2.9	-36.3	-4.4		-29.8
	人 手	-20.2	-17.1	-16.4	-20.3	-21.9	-21.1	-20.8	-23.9	-18.6	-21.1	-20.0	-18.6	-12.8	-18.8	-3.5	-13.3		-5.3
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	5.4	5.7	12.5	6.8	9.6	7.0	18.1	5.6	18.6	5.7	12.9	8.8	10.0	10.1	31.5	10.3		22.8
	借入しない/借入の予定なし(%)	94.6	94.3	87.5	93.2	90.4	93.0	81.9	94.4	81.4	94.3	87.1	91.2	90.0	89.9	68.5	89.7		77.2
	借入難易度	<b>-2.2</b>		<b>0.0</b>		<b>0.0</b>		<b>-7.5</b>		<b>-10.2</b>		<b>-8.5</b>		<b>-15.7</b>		<b>-4.5</b>			
有効回答事業所数	75		74		73		72		70		70		70		58				

# サービス業

## 転記表 No.2

2020年4月～6月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2018年		2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 7～9月 期
	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	-6.7	-8.6	-6.8	-8.3	-2.7	-5.5	-9.9	-4.2	-2.9	-14.3	0.0	-5.8	-1.5	1.4	-8.7	-4.6		-10.7
	実施した・予定あり	14.7	13.0	15.5	15.3	11.4	17.9	13.2	12.7	11.6	13.6	19.1	11.9	15.9	15.4	8.9	15.2		10.9
	事業用土地・建物	18.2	22.2	9.1	18.2	12.5	16.7	33.3	11.1	37.5	11.1	15.4	12.5	9.1	10.0	20.0	20.0		16.7
	機械・設備の新・増設	18.2	11.1	18.2	27.3	25.0	25.0	33.3	11.1	25.0	22.2	38.5	37.5	36.4	40.0	-	30.0		-
	機械・設備の更改	9.1	22.2	18.2	9.1	-	33.3	11.1	11.1	12.5	33.3	38.5	-	27.3	30.0	-	10.0		16.7
	事務機器	18.2	33.3	45.5	27.3	37.5	33.3	55.6	22.2	37.5	22.2	30.8	25.0	45.5	50.0	80.0	30.0		16.7
	車両	63.6	88.9	36.4	63.6	62.5	41.7	33.3	44.4	25.0	44.4	30.8	62.5	27.3	40.0	60.0	50.0		66.7
	その他	9.1	-	9.1	9.1	12.5	-	11.1	11.1	12.5	-	7.7	12.5	9.1	-	-	10.0		-
	実施しない・予定なし	85.3	87.0	84.5	84.7	88.6	82.1	86.8	87.3	88.4	86.4	80.9	88.1	84.1	84.6	91.1	84.8		89.1
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	25.3		31.1		31.5		36.1		34.3		32.9		31.4		62.1		
人手不足		22.7		24.3		28.8		19.4		21.4		22.9		20.0		12.1			
同業者間の競争の激化		38.7		41.9		38.4		41.7		40.0		38.6		45.7		32.8			
大企業との競争の激化		12.0		12.2		12.3		13.9		12.9		14.3		14.3		5.2			
合理化の不足		2.7		1.4		-		1.4		1.4		2.9		1.4		-			
利幅の縮小		10.7		9.5		12.3		11.1		14.3		12.9		11.4		12.1			
取扱事務の陳腐化		-		1.4		-		-		-		-		-		-			
材料価格の上昇		13.3		12.2		9.6		8.3		8.6		12.9		14.3		-			
料金の値下げ要請		-		1.4		-		1.4		-		2.9		4.3		3.4			
人件費の増加		6.7		4.1		5.5		8.3		5.7		10.0		5.7		8.6			
人件費以外の経費の増加		4.0		4.1		2.7		1.4		5.7		-		4.3		1.7			
技術力の不足		2.7		2.7		1.4		4.2		1.4		-		2.9		-			
取引先の減少		9.3		8.1		8.2		8.3		8.6		10.0		10.0		12.1			
商圏人口の減少		6.7		5.4		6.8		5.6		2.9		1.4		4.3		3.4			
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		-			
駐車場の確保難		2.7		1.4		1.4		4.2		4.3		-		-		1.7			
店舗・設備の狭小・老朽化		8.0		9.5		11.0		8.3		7.1		7.1		10.0		3.4			
代金回収の悪化		-		-		-		1.4		2.9		-		1.4		3.4			
天候の不順		2.7		5.4		2.7		4.2		1.4		4.3		4.3		-			
地場産業の衰退		1.3		1.4		1.4		1.4		-		2.9		-		-			
大手企業・工場の縮小・撤退	1.3		1.4		2.7		4.2		-		1.4		-		1.7				
その他	-		-		-		-		-		-		4.3		8.6				
問題なし	12.0		6.8		12.3		11.1		14.3		12.9		8.6		6.9				
重点経営施策(%)	販路を広げる	28.0		39.2		34.2		37.5		30.0		32.9		38.6		37.9			
	経費を節減する	36.0		36.5		35.6		30.6		37.1		32.9		37.1		43.1			
	宣伝・広告を強化する	22.7		25.7		24.7		20.8		24.3		30.0		34.3		31.0			
	新しい事業を始める	2.7		2.7		2.7		2.8		4.3		2.9		4.3		1.7			
	店舗・設備を改装する	5.3		8.1		6.8		11.1		7.1		7.1		10.0		1.7			
	提携先を見つける	10.7		12.2		11.0		12.5		8.6		8.6		4.3		6.9			
	技術力を強化する	12.0		9.5		8.2		12.5		5.7		10.0		17.1		5.2			
	機械化を推進する	-		1.4		-		-		-		2.9		2.9		-			
	人材を確保する	18.7		21.6		24.7		20.8		20.0		21.4		15.7		10.3			
	パート化を図る	2.7		1.4		1.4		2.8		1.4		2.9		-		1.7			
	教育訓練を強化する	5.3		5.4		6.8		5.6		5.7		5.7		8.6		3.4			
	労働条件を改善する	5.3		6.8		6.8		5.6		8.6		10.0		4.3		5.2			
	不動産の有効活用を図る	-		-		1.4		-		2.9		1.4		-		-			
	その他	-		-		1.4		-		-		-		1.4		3.4			
特になし	16.0		12.2		17.8		18.1		18.6		17.1		12.9		15.5				
有効回答事業所数	75		74		73		72		70		70		70		58				

## 建設業

## 転記表 No.1

2020年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2018年		2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 7～9月 期
		7月～9月期	28.1	10月～12月期	23.8	1月～3月期	27.4	23.4	4月～6月期	19.4	30.6	17.7	18.0	17.7	15.3	14.8	4月～6月期		
業 況	良 い	20.3	28.1	24.6	23.8	27.4	23.4	25.8	19.4	30.6	17.7	18.0	17.7	15.3	14.8	5.7	13.6		5.7
	普 通	62.5	61.0	63.1	65.1	58.1	64.1	56.5	64.5	54.9	71.0	65.6	66.2	64.4	70.4	49.0	62.7		52.8
	悪 い	17.2	10.9	12.3	11.1	14.5	12.5	17.7	16.1	14.5	11.3	16.4	16.1	20.3	14.8	45.3	23.7		41.5
	D・I	3.1	17.2	12.3	12.7	12.9	10.9	8.1	3.3	16.1	6.4	1.6	1.6	-5.0	0.0	-39.6	-10.1		-35.8
	<b>修正値</b>	<b>8.4</b>	<b>11.5</b>	<b>11.5</b>	<b>15.1</b>	<b>8.7</b>	<b>14.2</b>	<b>8.3</b>	<b>4.0</b>	<b>17.6</b>	<b>1.7</b>	<b>1.8</b>	<b>3.3</b>	<b>-6.1</b>	<b>2.0</b>	<b>-34.8</b>	<b>-7.2</b>	<b>-28.7</b>	<b>-34.0</b>
	傾 向 値	8.8		8.6		8.4		8.7		10.7		11.0		7.4		-0.8			
売 上 額	増 加	31.3	35.9	33.8	26.6	27.4	23.1	24.2	12.9	29.0	14.5	21.3	9.7	20.3	13.1	3.8	8.5		9.4
	変 ら ず	51.5	53.2	55.4	62.5	56.5	63.1	61.3	64.5	56.5	72.6	68.9	70.9	59.4	70.5	47.2	71.2		43.4
	減 少	17.2	10.9	10.8	10.9	16.1	13.8	14.5	22.6	14.5	12.9	9.8	19.4	20.3	16.4	49.0	20.3		47.2
	D・I	14.1	25.0	23.0	15.7	11.3	9.3	9.7	-9.7	14.5	1.6	11.5	-9.7	0.0	-3.3	-45.2	-11.8		-37.8
	<b>修正値</b>	<b>16.0</b>	<b>18.9</b>	<b>18.5</b>	<b>20.6</b>	<b>12.9</b>	<b>9.3</b>	<b>9.7</b>	<b>-4.9</b>	<b>15.0</b>	<b>-4.5</b>	<b>7.0</b>	<b>-6.0</b>	<b>3.5</b>	<b>-3.6</b>	<b>-40.4</b>	<b>-4.2</b>	<b>-43.9</b>	<b>-38.0</b>
	傾 向 値	18.2		17.7		16.7		15.5		14.6		13.2		10.3		2.1			
受 注 残	増 加	25.0	28.1	32.3	21.9	25.8	26.2	21.0	12.9	17.7	12.9	16.4	9.7	16.9	9.8	3.8	8.5		9.4
	変 ら ず	56.2	65.6	55.4	67.2	61.3	58.4	67.7	66.1	67.8	75.8	75.4	70.9	64.5	73.8	49.0	72.9		43.4
	減 少	18.8	6.3	12.3	10.9	12.9	15.4	11.3	21.0	14.5	11.3	8.2	19.4	18.6	16.4	47.2	18.6		47.2
	D・I	6.2	21.8	20.0	11.0	12.9	10.8	9.7	-8.1	3.2	1.6	8.2	-9.7	-1.7	-6.6	-43.4	-10.1		-37.8
	<b>修正値</b>	<b>10.3</b>	<b>20.4</b>	<b>16.2</b>	<b>14.1</b>	<b>11.3</b>	<b>11.7</b>	<b>11.3</b>	<b>-6.1</b>	<b>7.1</b>	<b>-1.2</b>	<b>4.3</b>	<b>-6.7</b>	<b>-0.8</b>	<b>-6.2</b>	<b>-38.6</b>	<b>-6.5</b>	<b>-37.8</b>	<b>-36.2</b>
	傾 向 値	14.7		13.8		13.8		13.1		11.8		10.0		6.7		-1.8			
施 工 高	増 加	21.9	33.3	31.3	18.8	22.6	23.4	22.6	12.9	22.6	16.1	19.7	11.3	13.6	9.8	5.7	8.5		9.4
	変 ら ず	62.5	58.8	57.8	73.4	64.5	65.7	66.1	66.1	66.1	72.6	73.7	69.3	64.4	77.1	47.1	72.9		47.2
	減 少	15.6	7.9	10.9	7.8	12.9	10.9	11.3	21.0	11.3	11.3	6.6	19.4	22.0	13.1	47.2	18.6		43.4
	D・I	6.3	25.4	20.4	11.0	9.7	12.5	11.3	-8.1	11.3	4.8	13.1	-8.1	-8.4	-3.3	-41.5	-10.1		-34.0
	<b>修正値</b>	<b>8.4</b>	<b>21.6</b>	<b>16.2</b>	<b>13.6</b>	<b>10.4</b>	<b>12.6</b>	<b>10.6</b>	<b>-4.7</b>	<b>12.3</b>	<b>0.8</b>	<b>8.4</b>	<b>-5.1</b>	<b>-3.4</b>	<b>-3.8</b>	<b>-37.6</b>	<b>-5.1</b>	<b>-34.2</b>	<b>-33.5</b>
	傾 向 値	12.8		13.6		13.8		12.7		12.6		12.3		9.1		0.2			
収 益	増 加	20.3	23.4	32.3	17.2	22.6	18.5	25.8	16.1	17.7	14.5	13.1	11.3	10.2	9.8	3.8	6.8		7.5
	変 ら ず	64.1	67.2	53.9	71.9	56.4	67.7	59.7	58.1	64.6	71.0	78.7	67.7	67.8	78.7	45.3	71.2		49.1
	減 少	15.6	9.4	13.8	10.9	21.0	13.8	14.5	25.8	17.7	14.5	8.2	21.0	22.0	11.5	50.9	22.0		43.4
	D・I	4.7	14.0	18.5	6.3	1.6	4.7	11.3	-9.7	0.0	0.0	4.9	-9.7	-11.8	-1.7	-47.1	-15.2		-35.9
	<b>修正値</b>	<b>5.8</b>	<b>10.5</b>	<b>13.6</b>	<b>6.9</b>	<b>4.2</b>	<b>6.2</b>	<b>8.9</b>	<b>-7.4</b>	<b>0.8</b>	<b>-4.0</b>	<b>-0.1</b>	<b>-8.2</b>	<b>-6.3</b>	<b>-1.8</b>	<b>-43.7</b>	<b>-10.7</b>	<b>-37.4</b>	<b>-34.9</b>
	傾 向 値	4.9		5.9		7.0		8.2		8.4		6.2		2.8		-6.2			
価 格 動 向	請 負 価 格	-3.2	1.5	7.7	1.5	-1.6	3.1	0.0	-6.4	4.8	4.8	1.6	1.6	3.4	-1.6	-13.2	1.7		-15.1
	〃 修正値	<b>-4.0</b>	<b>2.0</b>	<b>3.8</b>	<b>1.5</b>	<b>0.2</b>	<b>1.8</b>	<b>2.6</b>	<b>-5.4</b>	<b>4.2</b>	<b>5.4</b>	<b>-2.5</b>	<b>1.5</b>	<b>4.0</b>	<b>-2.6</b>	<b>-9.6</b>	<b>2.6</b>	<b>-13.6</b>	<b>-14.0</b>
	〃 傾向値	-1.0		-0.2		0.4		0.5		1.7		2.0		1.8		0.8			
	材 料 価 格	26.5	33.3	32.8	17.2	39.3	26.6	34.4	31.2	34.4	26.3	30.0	27.9	27.6	30.0	15.4	31.1		11.6
	〃 修正値	<b>27.9</b>	<b>30.8</b>	<b>32.1</b>	<b>20.2</b>	<b>39.3</b>	<b>26.2</b>	<b>32.5</b>	<b>31.7</b>	<b>36.3</b>	<b>25.4</b>	<b>31.6</b>	<b>31.0</b>	<b>27.3</b>	<b>30.7</b>	<b>17.2</b>	<b>30.1</b>	<b>-10.1</b>	<b>13.9</b>
	〃 傾向値	27.4		29.2		31.4		33.1		34.2		34.9		33.1		29.2			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-1.5	-3.2	-1.6	-3.1	-3.3	-3.1	0.0	-3.3	-3.3	0.0	-3.3	-4.9	-6.9	-5.0	-7.7	-3.5		-9.6
	〃 修正値	<b>-1.8</b>	<b>-2.4</b>	<b>-1.9</b>	<b>-3.7</b>	<b>-3.0</b>	<b>-2.7</b>	<b>-0.2</b>	<b>-3.1</b>	<b>-3.5</b>	<b>-0.5</b>	<b>-3.7</b>	<b>-5.2</b>	<b>-5.8</b>	<b>-4.6</b>	<b>-7.5</b>	<b>-2.6</b>	<b>-1.7</b>	<b>-9.1</b>
	資 金 繰 り	-6.3	-4.7	0.0	-4.6	-6.4	-1.5	1.6	-8.1	-3.2	-4.9	1.6	-6.4	-3.4	-1.6	-17.0	-15.2		-20.8
〃 修正値	<b>-5.6</b>	<b>-4.9</b>	<b>-3.0</b>	<b>-3.5</b>	<b>-6.4</b>	<b>-4.0</b>	<b>1.4</b>	<b>-7.9</b>	<b>-2.6</b>	<b>-4.6</b>	<b>-1.6</b>	<b>-5.6</b>	<b>-2.2</b>	<b>-4.4</b>	<b>-15.0</b>	<b>-12.5</b>	<b>-12.8</b>	<b>-19.0</b>	
前 年 同 期 比	売 上 額	9.4		26.2		11.5		8.1		6.4		13.3		3.4		-35.9			
	収 益	4.7		20.0		1.6		6.5		-1.6		6.7		0.0		-35.9			
雇 用	残 業 時 間	7.8	-1.5	10.7	6.4	4.8	4.7	-3.3	-1.6	0.0	-3.3	3.2	-8.2	5.1	1.7	-27.0	1.8		-20.7
	人 手	-37.5	-34.4	-36.9	-33.9	-37.1	-37.5	-29.5	-32.3	-36.6	-30.0	-29.5	-35.0	-39.0	-31.1	-22.6	-36.2		-30.2
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	34.9	20.6	40.0	24.2	32.3	31.7	32.8	27.9	31.1	18.0	38.3	22.0	32.8	23.3	46.2	26.3		33.3
	借入しない/借入の予定なし(%)	65.1	79.4	60.0	75.8	67.7	68.3	67.2	72.1	68.9	82.0	61.7	78.0	67.2	76.7	53.8	73.7		66.7
	借入難易度	<b>-5.6</b>		<b>-5.5</b>		<b>0.0</b>		<b>1.9</b>		<b>7.6</b>		<b>11.5</b>		<b>8.0</b>		<b>8.7</b>			
有効回答事業所数		64		65		62		62		62		61		59		53			

# 建設業

## 転記表 No.2

2020年4月～6月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2018年		2018年		2019年		2019年		2019年		2019年		2020年		2020年		対 前期比	2020年 7～9月 期
		7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期		
設備投資動向(%)	現在の設備	-3.2	-3.2	-3.1	-3.3	-6.6	-5.0	0.0	-6.6	-3.4	0.0	-6.7	-3.4	-3.5	-8.3	-7.8	-3.5		-6.0
	実施した・予定あり	16.4	15.3	22.6	25.0	16.9	21.7	23.3	22.0	20.3	20.7	33.3	29.3	21.1	31.7	21.6	23.6		26.0
	事業用土地・建物	30.0	11.1	14.3	20.0	30.0	7.7	21.4	15.4	25.0	25.0	20.0	35.3	25.0	15.8	27.3	23.1		7.7
	機械・設備の新・増設	20.0	44.4	14.3	20.0	20.0	30.8	28.6	38.5	33.3	33.3	20.0	17.6	16.7	15.8	54.5	38.5		30.8
	機械・設備の更改	20.0	33.3	28.6	13.3	-	38.5	21.4	23.1	33.3	25.0	20.0	23.5	8.3	15.8	18.2	7.7		30.8
	事務機器	30.0	11.1	35.7	13.3	40.0	15.4	35.7	15.4	25.0	25.0	35.0	35.3	16.7	31.6	36.4	7.7		23.1
	車両	50.0	33.3	71.4	53.3	70.0	53.8	42.9	61.5	16.7	41.7	60.0	17.6	41.7	57.9	45.5	38.5		46.2
	その他	-	-	7.1	-	-	7.7	7.1	-	8.3	-	5.0	5.9	8.3	-	-	-		7.7
	実施しない・予定なし	83.6	84.7	77.4	75.0	83.1	78.3	76.7	78.0	79.7	79.3	66.7	70.7	78.9	68.3	78.4	76.4		74.0
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	21.9		23.1		22.6		27.4		25.8		23.0		27.1		49.1			
	人手不足	34.4		35.4		37.1		33.9		40.3		44.3		39.0		24.5			
	大手企業との競争の激化	20.3		16.9		11.3		14.5		16.1		9.8		6.8		9.4			
	同業者間の競争の激化	25.0		27.7		24.2		21.0		24.2		23.0		20.3		28.3			
	親企業による選別の強化	1.6		1.5		-		1.6		1.6		6.6		-		1.9			
	合理化の不足	1.6		3.1		1.6		1.6		1.6		6.6		-		3.8			
	利幅の縮小	17.2		10.8		19.4		17.7		9.7		16.4		18.6		18.9			
	材料価格の上昇	18.8		24.6		16.1		17.7		22.6		11.5		15.3		7.5			
	下請の確保難	10.9		20.0		17.7		12.9		19.4		14.8		18.6		13.2			
	駐車場・資材置場の確保難	6.3		1.5		3.2		6.5		1.6		6.6		5.1		3.8			
	人件費の増加	6.3		15.4		17.7		21.0		19.4		16.4		11.9		13.2			
	人件費以外の経費の増加	3.1		3.1		1.6		4.8		1.6		-		3.4		1.9			
	技術力の不足	6.3		3.1		4.8		8.1		8.1		3.3		3.4		5.7			
	代金回収の悪化	1.6		-		-		-		1.6		1.6		3.4		5.7			
	天候の不順	12.5		7.7		9.7		8.1		8.1		14.8		8.5		9.4			
	地場産業の衰退	-		-		-		-		1.6		-		1.7		1.9			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.6		1.5		-		-		1.6		1.6		-		-			
	その他	1.6		3.1		1.6		-		1.6		-		3.4		11.3			
	問題なし	10.9		7.7		6.5		6.5		6.5		4.9		6.8		3.8			
	重点経営施策(%)	販路を広げる	31.3		32.3		30.6		46.8		35.5		41.0		27.1		37.7		
経費を節減する		32.8		38.5		38.7		35.5		32.3		36.1		42.4		47.2			
情報力を強化する		20.3		13.8		24.2		24.2		21.0		19.7		20.3		24.5			
新しい工法を導入する		3.1		4.6		1.6		4.8		6.5		8.2		5.1		5.7			
新しい事業を始める		1.6		3.1		1.6		3.2		-		3.3		1.7		1.9			
技術力を高める		17.2		27.7		22.6		25.8		30.6		18.0		20.3		26.4			
人材を確保する		43.8		41.5		43.5		33.9		40.3		39.3		35.6		22.6			
パート化を図る		-		-		-		-		-		1.6		-		-			
教育訓練を強化する		6.3		6.2		9.7		6.5		9.7		6.6		8.5		13.2			
労働条件を改善する		9.4		6.2		6.5		8.1		3.2		4.9		3.4		5.7			
不動産の有効活用を図る		1.6		3.1		3.2		3.2		3.2		4.9		5.1		3.8			
その他	1.6		-		1.6		-		1.6		-		-		1.9				
特になし	10.9		7.7		6.5		4.8		4.8		3.3		5.1		5.7				
有効回答事業所数	64		65		62		62		62		61		59		53				

**江戸川区 生活振興部 産業振興課 計画係**

TEL:03-5662-0525 (直通) FAX:03-5662-0812